

# **RENGO**



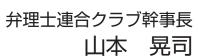
弁理士連合クラブ会報

## 目 次

巻	頭言			
	弁理士連合クラブ幹事長	山本	晃司	 2
ご	挨拶			
	日本弁理士会会長	伊丹	勝	 4
	日本弁理士クラブ幹事長	西島	孝喜	 6
	西日本弁理士クラブ幹事長	佐木	啓二	 8
	弁理士同友会幹事長	青山	仁	 10
	弁理士クラブ幹事長	船津	暢宏	 11
	日本弁理士会副会長	粕川	敏夫	 13
	日本弁理士会副会長	塩野谷	<b>è</b> 英城	 15
会	<b>務報告</b>			
	弁理士連合クラブ副幹事長	永岡	重幸	 17
	弁理士連合クラブ副幹事長	森	俊秀	 18
	弁理士連合クラブ副幹事長	石川	憲	 19
	平成27年度弁理士連合クラブの	あゆみ		 20
	総務委員会			 22
	政策委員会			 25
	企画委員会			 26
	調整委員会			 27
	役員協議委員会			 28
	研修委員会			29
親閣	全会報告			
	第25回連合旅行会			30
資	料			
	平成27年度弁理士連合クラブ役	:員		 34
	弁理士連合クラブ歴代役員			 36
	弁理士連合クラブ会則			 55
	慶弔規則			 58
	「特別寄付金」を求めるときの	運用基	準	 59
編纟	集後記			 60

表紙「題字」山川 政樹 「写真」 - 遊覧船 - 柿本 邦夫

## 単位クラブの発展と 連合の活動の充実





機関誌『連合』No.26の発刊に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

平成27年度の弁理士連合クラブは、昨年度と同 様に「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁 理士会への強力な支援」、「日本弁理士会の支援の ための三派体制の確立」をテーマに掲げて活動しま した。「弁理士連合クラブの活動の充実」に関して は、親睦旅行会の実施や日本弁理士会役員選挙への 対応といった例年通りの活動に加え、弁理士法への 使命条項の創設をはじめとする数々の成果を挙げら れた古谷前日本弁理士会会長、並びに古谷前会長の 下で日本弁理士会副会長又は執行理事を務められた 先生方の労をねぎらうべく、「古谷執行部慰労会」 を開催しました。多数の会員の先生方にご参加頂き ましたことに深く感謝申し上げます。役員選挙では 弁理士連合クラブ推薦の候補者全員が無投票で無事 に当選を果たすことができました。当選された方々 には、連合推薦の役員として次年度のご活躍を期待 いたします。当選祝賀会では、例年にない試みとし てサンバダンサーによる余興を導入しました。限ら れた予算内で一工夫を加え、貴重な時間を割いてご 出席頂ける皆様に楽しい時間を過ごして欲しいとの 思いで企画したものですが、選対関係者のご尽力に より会場を大いに盛り上げることができました。ご 来場の皆様にはご理解とご協力を賜り、ここに深く お礼を申し上げます。

また、活動の充実策の一環として、弁理士連合クラブホームページのコンテンツの拡充を図りました。まだまだ十分ではありませんが、情報発信の場

として今後の活用が期待されるところです。機関誌発行体制も見直し、発行費用の大幅な削減を実現しました。独自の財源を持たず、単位クラブの拠出金に頼らざるを得ない弁理士連合クラブでは、財務体質の改善と単位クラブの負担軽減を常に意識する必要があります。この点で発行費用の削減は非常に大きな成果であったといえます。ご担当頂いた企画委員会関係者の皆様には深く感謝しています。親睦旅行会においても寄付金依存からの脱却を模索しましたが、従来通りの旅行会の内容ではコスト削減にも限界があります。今後の検討課題として次年度に申し送りたいと思います。

「日本弁理士会への強力な支援」については、日本弁理士会委員会等の次年度人事検討委員会における会員の推薦などを中心とする人事面での支援と、政策提言とを例年通りに進めました。また、弁理士連合クラブの政策検討機能を強化するため、単位クラブの政策委員会に諮った後に、連合政策委員会を開催して意見を集約することとしました。近年は、時間的成約から電子メールで意見を募る手法に頼りがちでしたが、委員同士が顔を合わせて議論することは有意義でした。今後も、政策検討機能の強化のために継続的に会合を開いて頂けたらと願う次第です。

「三派体制の確立」については、日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブの旅行会、新旧役員慰労会激励会、選挙当選祝賀会といった定例行事、西日本弁理士クラブの60週年記念行事に参加するなどして三派相互の交流を図りました。このような機会

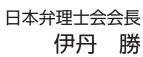
に日本弁理士会の課題などについて意見を述べ合い つつ三派の政策提言に反映させていくことは、会派 の活動として何よりも重要な活動であると改めて実 感しました。

さて、一年を振り返ってみますと、日本弁理士会の活動は三派の支援があってこそ成り立つものであり、しかも、当クラブの活動は弁理士同友会及び弁理士クラブの皆様のご理解とご協力に支えられてこそ成り立つものであることを改めて強く認識しました。弁理士同友会及び弁理士クラブの皆様にはこの一年間ご支援を賜ったことに厚くお礼を申し上げます。今後、弁理士同友会及び弁理士クラブが益々発展し、その発展が当クラブの活動のさらなる充実へとつながっていくことを願ってやみません。

最後になりましたが、平成27年度の弁理士連合クラブ副幹事長として、総務、政策をご担当頂いた森俊秀先生、選対、調整をご担当頂いた石川憲先生、企画、研修をご担当頂いた永岡重幸先生をはじめとして当クラブの各委員会委員の先生方には、当クラブの運営に多大なるご協力を賜りました。先生方のご尽力がなければ当クラブの活動を進めることは到底不可能でした。ここに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。平成28年度は、石川憲幹事長の下でより活発な活動が展開されることを期待して、私からのごあいさつの結びとさせて頂きます。



## 社会ニーズを捉えて 弁理士の活躍の場を増やそう!





弁理士連合クラブの会員の皆様には、日頃より日本弁理士会の会務にご協力を頂き、誠に有り難うございます。本年度の事業も、早いものでもう2ヶ月を残すのみとなり、慌ただしい仕上げの次期にさしかかって参りました。

昨年は、使命条項が規定された新弁理士法が施行された歴史的な年でした。弁理士の存在意義と社会的使命が明確になったことを受けて、我々一人一人が弁理士の社会的使命を認識し履行していくことを改めて確認した訳であります。国内の出願件数の減少が中々止まらず、我々を取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、社会が必要としている知的財産関連ビジネスのニーズを的確に捉えれば、弁理士が活躍する場が拡大していく余地は、まだまだ十分にあるものと思います。日本弁理士会も、長期的な視野に立ち、未来を見据えて、弁理士の存在意義を積極的に高めていくための活動をより一層進めて参りたいと思っています。

経済貿易面では、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)交渉がようやく大筋合意に至り、知的財産制度の国際的な調和に向けて国内法整備の準備段階に入りました。TPPにより工業製品のみならず、農産物についてもグローバル化がより一層進展し、中小企業においても海外市場でのビジネスチャンスがますます拡大するものと予想されます。これに伴い海外における知財リスク回避への対応が更に重要性を増してくるでしょう。中小企業支援体制の更なる強化が必要です。

本年度は、使命条項元年というベストのタイミン

グで「弁理士知財キャラバン」事業を立ち上げました。この事業は「知財経営コンサルティング」という切り口での支援ですが、様々な可能性を秘めており、うまくネットワークを構築すれば、広範な展開が期待できると思っております。今後、広報を更に強化し、各地域キャラバンのご協力のもと、支援対象企業の数を増やしていきたいと思っています。地道な活動ではありますが、地域の中小企業の経営者に事業戦略における知財戦略の重要性が少しずつ浸透していけば、知財専門家のサポートを受けようという動きも出てくるでしょうし、弁理士のコア業務にも良い影響を与えると思います。弁理士の活躍の場の拡大に少しでもつながっていけばと期待しています。

国内の出願数を増加させるには、使い勝手が良く、効果のある知財システムの構築が重要です。知財紛争処理システムの適正化、グローバル出願に対する対応、新たな産業を見据えた知財保護システム等、これからの時代にマッチした知財システムを検討し、提案していくことが必要です。知財紛争処理システムにおける損害賠償額の適正化、立証の容易化、権利の安定性向上などについては、イノベーションを促進する(すなわち出願数を増やす)という観点での検討がなされるべきです。公平性、妥当性を備えたバランスのとれた知財紛争処理システムを構築する必要があります。今後も制度改正について、積極的に発信していく予定です。

グローバルドシエ、ePCT、PLTといったグローバルな知財システムに関しては、各国において

適正な権利保護が確保できる知財システムを目指し、プレジデントミーティングなどで他国の代理人団体とも連携しながら、様々な提案をしていきたいと思っています。

会員事務所の経営基盤の地盤沈下は、日本の知財を支える人材の弱体化につながります。何とか食い止めたいと思います。会員事務所の収益状況がある程度分かる経営支援ツール(ソフト)を作成し、本年早々に会員に配布できる予定です。その後は、会として外部への働きかけと、経営相談員の会員事務所への派遣を通じた事務所の経営改善の支援を行いたいと考えています。

以上のような施策を次年度も継続発展させながら、弁理士業界の更なる活性化を図って行く所存です。本年も連合弁理士クラブの会員の皆様のご理解とご協力を何とぞ宜しくお願い申し上げます。





## 日本弁理士クラブ幹事長 **西島 孝喜**

今年度の日本弁理士クラブと弁理士連合クラブ様 との交流を中心にご挨拶申し上げさせていただきま す。

今年度の日本弁理士クラブの旅行会を平成27年 6月6日~7日松山(道後温泉)でした。弁理士連 合クラブ様及び西日本弁理士クラブ様から多くのご 参加を賜り、総勢80名を超える盛況でした。研修 会では伊丹会長及び複数の副会長から今年度役員会 の活動報告について弁理士キャラバン隊等の活動を 中心に報告をいただきました。

また、これに合わせてゴルフ大会を6月7日にエリエールゴルフクラブ松山で開催しました。日弁サマーパーティを平成27年8月28日に「六本木ヒルズクラブ」で行いました。

役員選挙当選祝賀会を11月26日に東海大学校友 会館でおこないました。弁理士連合クラブ様からも 多数のご出席を賜り、会員同士の有意義な意見交流 の場とすることができました。

これからの日本弁理士クラブの活動について思っているところを申し上げます。

弁理士会を取り巻く情勢は、様々な観点で多様にかつ急速に変動しております。第1に国際的な状況変化があります。グローバルドシエ、TPP、PLT等に基づく制度改正が、目白押しになっております。

グローバルドシエの議論の現状を分析するとその 行く末は世界統一特許庁設立へ向かって時間の歯車 が動き始めたことを認識せざるを得ません。 このことは日本特許庁の存亡にかかる根本的な問題であることを認識する必要があると思います。

日本の知財制度の現状を見ると、グローバルドシ エの議論を進めている五大特許庁のなかで、特許出 願数の減少傾向が顕著なのは日本特許庁だけです。

このことの1つには日本の知財のユーザーが知財 戦略をグローバルな戦略に転換しているという観測 があります。したがって、弁理士はこのユーザーの 戦略転換に対して敏感に反応して、ユーザーの知財 世界戦略を一体的に支援できる体制を構築する必要 があります。

このことがユーザーから求められている弁理士の 使命であること認識する必要があると思います。

ご承知のように日本の状況は国土小国、資源小国、老人大国、人口減少があります。一方で、日本人は、緻密性、実直性、誠実性という日本人の特徴を重ね合わせると、日本が今後、グローバル化が急速進行する世界で生き残るには、頭を使うしかない、すなわち、日本が世界共通の知的財産保護制度を活用し、知財活動を活性化し、産業復興を図り、日本再興を図るしかないと考えます。日本の劇的な戦後復興が物語るように、かつて第2次大戦戦勝国を打ち負かしたように知財戦争に打ち勝つしか道はない、と思います。当然ですが、知財制度の活性化には弁理士が中核となって活動することが必須です。

ところでご承知のように3年前、米国がAIAに よって先発明主義から他の国に合わせて先願主義に 転換してきました。明らかに米国は、世界統一特許 庁の座を狙っています。

個人的な感想ですが、USPTOに比べて、日本の特許庁は緻密で、正確です。日本の特許庁の審査は世界的にみて質が高く、一貫性があると考えます。世界統一特許庁としては米国特許庁よりも、日本の特許庁が相応しいと考えます。そのために弁理士会は日本国特許庁が世界統一特許庁を担っていただけるように協力すべきであること考えます。

しかし、一方で日本の知財制度は特に米国の制度 に比べるとユーザーに対して期限徒過、あるいは特 許の訂正等において非常に冷たいところがありま す。

このために、時に、特許庁の対応にユーザーは失望し、日本の知財制度に嫌悪感を抱くこともあります。しかし、日本特許庁が世界統一特許庁を目指すためには、まず第1に、ユーザーに優しい寛容な制度を構築することが必要です。

このためには、弁理士会は特許庁と一体となって 日本の知財制度がユーザーのからの信頼を十分に得 られる真のユーザーフレンドリーな制度に修正して いく必要があります。

第2に、弁理士を取り巻く国内的な状況変化があります。すなわち、この10年間で弁理士登録者数が2倍を超える勢いで増加し、11000人の数の弁理士登録者がいます。

弁理士には、他士業にはできない現場において発明の発掘を担うという基本的使命があると思います。伊丹会長のもとで弁理士キャラバンが立ち上がり、実を結びつつあるところであると伺っておりますが、正にこのことが弁理士の発明発掘の使命を全うするために必要なものであり、弁理士の使命の原点であると考えます。このような意識を持って弁理士の原点に戻れば、仕事は枯渇することはないと考えます。

日本弁理士会が上記の議論の和の中に入り中軸となって活動できる体制構築に向けて日本弁理士クラブは日本弁理士会を一丸となって支持していくことが必要であると考えます。



## 若手人材の発掘と育成に 力を入れております

## 西日本弁理士クラブ幹事長 **佐木 啓二**



1. 平成27年度西日本弁理士クラブ (西弁) 幹事長の佐木啓二です。このたびは、弁理士連合クラブ様のクラブ誌におきまして挨拶の機会を賜り、ありがとうございます。

また、去る11月6~7日に開催させていただきました当クラブの創立60周年の記念事業に弁理士連合クラブ様ならびに貴クラブを構成する弁理士クラブ様および弁理士同友会様から多数のご臨席またはご参加を賜り、ありがとうございました。「皆で楽しもう」をコンセプトに企画・準備を進めてまいりましたが、おかげさまで記念講演会、記念式典、記念祝賀会およびメモリアルゴルフコンペのすべてを無事に執り行うことができました。厚く御礼申し上げるとともに、これからも弊クラブに対しご指導、ご鞭撻を賜るよう何卒よろしくお願い申し上げます。

2. さて、私の任期も残り1カ月余り(平成27年11月末時点)となりましたが、今振り返るとアッという間の10カ月余りでした。諸先輩方が築き上げた西弁の歴史に、何か一つでも足跡を残すことができたのか、自問している今日この頃です。

幹事長就任時の目標の一つとして「若手を中心とする人材の発掘と育成」を掲げました。そのために、当クラブを構成する「若手会」には限られた中から比較的多くの予算をつけて活動の自由度を高め、また、若手会主催の行事にはできるかぎり参加してクラブの意義についてお話しをしてきました。

3. ここで当クラブの「若手会」について若干説明させていただきます。当会は、今から10数年前に次年度幹事長の松村直都先生が中心となって組織され、年々成長を遂げ、現在では380名強の会員を擁する規模となっており、西弁会員の約半分を占める勢力となっております。「若手会」といいましても、年齢により区切るのではなく、弁理士登録10年未満の会員は自動的に「若手会」にも所属することになります。

「若手会」はリーダーを中心とした複数の運営委員により運営され、クラブ本体とは別に独自に研修、親睦行事などを企画し実行しています。「若手会」のリーダーは、クラブ本体の幹事を兼任しており、クラブ本体との連絡・調整の役割も果たしております。「若手会」の特徴は、文字通り、ほぼ若手が中心となって行事を企画し、また、会員に限らず、非会員の弁理士、事務所職員、弁理士の家族までを参加対象としていることから、登録したばかりの非会員の弁理士にとってハードルが低く、参加し易いところです。若手会の行事は、本年度であれば、例えば紙飛行機イベントであるとか、アスレチック体験付きバーベキューであるとか、小さなお子さんがいる家族連れでも気軽に参加できる行事が中心です。

クラブというと何か仰々しくて近寄りがたい、という声をよく聞きます。意外ですが、非会員にとっては、それがクラブというものに抱く印象のようです。そこで、非会員の先生方には、親睦を通じて、まずは弁理士の輪を広げるとともに、一部ではあり

ますがクラブ活動というものを経験していただきたいと思います。そのうえで、会員になっていただき、その後若手会運営委員、幹事、副幹事長と少しずつ経験を積み重ねていただければと考えております。

- 4. 皆様もそうだと思いますが、自分からはなかなか「クラブに入りたいのですが」とは言えないのではないでしょうか。多くの会員が、先輩弁理士や同期の仲間に声を掛けられてクラブに入会されたのではないでしょうか。当クラブの「若手会」は、このように自然に無理なく声を掛ける、掛けられるという関係を築くのに大きな役割を果たしていると自負しており、これからも、その活動に大いに期待しているところです。
- 5. 我々弁理士を取り巻く環境は年々悪化しており、世間ではアベノミクスの効果により某会社が史上最高益を上げたといった景気の良い報道がなされていますが、「どこの話?」というのが大方の先生方の実感ではないでしょうか。

当クラブの活動におきましても楽観的な状況にあるとは言えないと認識しております。ただ、私としましては、希望を捨てることなく、次世代を担う人材を一人でも多く発掘することに残りの任期も全力を注ぎ、次期幹事長の松村直都先生にバトンタッチしたいと考えております。





弁理士同友会幹事長 青山 仁

平成27年度弁理士同友会幹事長を務めさせていただきました青山仁です。機関誌「連合」の発刊に際し、ひとことご挨拶申し上げます。

まずは、弁理士同友会幹事長の在任中にお世話になりました弁理士連合クラブ会員の先生方に心よりお礼申し上げます。様々な場面で皆様方のお力添えをいただきました結果、弁理士同友会幹事長の任期を無事満了することができました。

また、弁理士連合クラブ幹事長の山本晃司先生には、その抜群の情報力と行動力とにより弁理士クラブと弁理士同友会との円滑かつ強力な連携を図っていただきました。特に、日本弁理会役員選挙においては、選挙情勢を逐次お伝え下さったとともに、投票選挙回避に向けて様々な調整を行っていただきました結果、弁理士連合クラブ推薦の全候補者が無事に当選を果たすことができましたことに大変感謝しております。

さて、本年度は、弁理士連合クラブ選出の塩野谷 英城副会長、粕川敏夫副会長を筆頭に、多数の弁理 士連合クラブ会員の先生方が多方面において活躍さ れました。このことは、弁理士連合クラブの一翼を 担う弁理士同友会幹事長として大変誇り高く、ま た、大変嬉しい限りです。

その一方で、我々弁理士を取り巻く環境は厳しさ を増しております。そのような厳しい環境を生き抜 くためには、弁理士一人一人が問題意識を持って主 体的に事に当たらなければならない反面、個々の弁 理士の力には限界があり、また、組織としての対応 を迫られる局面も多々存在します。

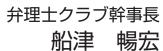
「無会派層の増加」や「会務に無関心な弁理士の 増加」などが叫ばれて久しいですが、弁理士同友会 幹事長を経験し、無会派層の増加や会務に無関心な 弁理士の増加が如何に由々しき問題であるかを再認 識しました。会派に所属しない弁理士数の増加は、 会派の存続のみでなく、日本弁理会の存続や存在意 義にも大きな影響を及ぼします。

会派に所属していない弁理士の方々には、我々弁理士は知的財産権制度および弁理士制度の下に存在しており、これら制度の維持・発展に関して日本弁理士会が如何なる役割を果たしているのか、日本弁理士会がその役割を果たす上で各会派が如何なる役割を果たし、また、如何なる活動を行っているのか、についてしっかりと説明する必要があると考えます。その上で会派の存在に対してご批判やご意見があるのであれば、公の場においてしっかりと議論すべきであると考えます。

私は、現在の日本弁理士会や会派の形態が唯一無 二であるとは思っておりません。弁理士連合クラブ の一翼を担う組織の幹事長を経験した現在、会派は その存在意義を再確認するとともに、時代に即した 新たな組織形態の模索も含めて自らを見つめ直すべ きときにきたのではないかと思っております。

最後に、船津暢宏幹事長を始め弁理士クラブの先生方から弁理士同友会に賜りました数々のご支援、ご協力に対して深く感謝申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

## 会員の力を集結して会務参加を





平成27年度弁理士クラブ幹事長を務めました船 津暢宏です。

弁理士連合クラブの皆様には、日頃から大変お世 話になり、感謝申し上げます。

昨年度は弁理士クラブの山川茂樹会員が、本年度は弁理士クラブの山本晃司会員が、弁理士連合クラブ幹事長を務め、弁理士クラブとしましては、二人の弁理士連合クラブ幹事長と密接な協力関係の下、弁理士同友会様と連携しながら、微力ではありますが、弁理士連合クラブをサポートできました。これも、ひとえに、弁理士連合クラブの皆様のご理解とご協力の賜物と大変感謝しております。

さて、平成27年3月末まで日本弁理士会の会長を務められました古谷史旺先生、弁理士連合クラブ選出の副会長、執行理事の諸先生方、大変お疲れ様でした。古谷先生がご尽力された弁理士法の一部改正によって、知的財産権の専門家として我々弁理士の活動のフィールドが広がったものと認識しています。そのフィールドで、弁理士がどのような行動を起こすことができるのか、今後チャレンジ精神をもって取り組むべき課題であると考えております。

現在の日本弁理士会会長である伊丹勝先生の執行部における主要な政策の一つであります「知財キャラバン」もチャレンジ精神の流れに沿った事業で、研修終了した支援員の先生方が活躍されるのもこれからです。伊丹先生の執行部の手腕に期待します。

弁理士1万人を越えて、出願件数の減少等の、弁理士を取り巻く厳しい状況下にあっては、実現可能 な政策立案、政策実行が強く求められます。

古谷先生の執行部の2年間を思い起こしますと、 政策立案、調整力、実行力に卓越したものがあり、 執行部を支えた弁理士連合クラブの底力に感心しま した。

そして、このような状況にあって、日本弁理士会の会務に会員の意見を反映させ、会務運営を円滑に維持するためには、弁理士連合クラブと単位会派の存在意義が益々大きくなります。更に、弁理士連合クラブの会員の力を集結し、底力を持って会務運営をリードしていくことが会務に大きく貢献できると考えます。

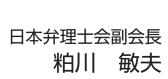
尚、弁理士クラブは、平成29 (2017) 年に創立 70周年を迎えます。先輩の諸先生方のご尽力に思 いを馳せて感謝し、弁理士クラブとしてこれからの 弁理士連合クラブの発展に寄与できるよう取り組ん で参りたいと考えております。

また、日本弁理士会役員定時選挙においては、弁理士クラブが擁立しました副会長候補の齋藤美晴会員、常議員候補の中島淳会員、小田原敬一会員及び美川公司会員に対して、弁理士連合クラブでもご推薦と支援を賜り、お陰さまで無事全員当選を果たすことができました。弁理士連合クラブの関係者の皆様には、弁理士クラブ幹事長として厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、私、弁理士クラブ第2回臨 時総会において、次年度の弁理士連合クラブの副幹 事長に推薦されました。弁理士連合クラブの副幹事 長に就任しましたら弁理士連合クラブの発展のため 精一杯精進を重ねる所存です。弁理士連合クラブの 会員の先生方におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜 りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 1年間を振り返って





弁理士連合クラブ所属の副会長として、平成27 年度の日本弁理士会副会長を務めさせていただいて おります。

弁理士連合クラブ会員の皆様におかれましては、 日頃より、ご支援、ご協力を賜りまして、誠にあり がとうございます。私の任期も余すところ僅かにな りましたが、最後まで引き続きのご支援を賜ります ようお願い申し上げます。

私の主な担当会務としては、広報センター、弁理 士推薦委員会、特許委員会、バイオ・ライフサイエ ンス委員会、知財訴訟委員会、知財活用推進委員 会、知財システム検討委員会、四国支部を担当させ ていただきました。

平成27年度の執行部は、「弁理士知財キャラバン」をはじめとする中小企業地方企業への支援に力を入れてきました。これまでの弁理士業務は、権利の取得のための業務が大半を占めておりますが、環境の変化からそれに限らずユーザ、特に中小企業、地方の企業からは企業経営に直結する知財のパートナーとして弁理士への期待も高まっていると感じております。今年度は、各支部のご協力のもと地域でのキャラバン隊を立ち上げ、後半は徐々に実績も上がってきております。今後支援委員が増えるにつれて、次年度に向けて大きな成果が出るように取り組んでいるところでございます。私の担当している広報センターでもキャラバンに向けた広告を積極的に行わせていただきました。

また、現在、特許出願件数の減少という現状か

ら、弁理士のコア業務の拡大も大きなテーマとなっております。特に、グローバル化の大きな流れのもと、本年度はPLT条約加盟やグローバルドシエ構想への対応など知財のグローバル化に対する対応も大きなテーマでした。これについては、知財システム検討委員会を中心として、7月に各国弁理士団体の会長レベルの方をお招きして「プレジデントミーティング」を開催いたしました。各国弁理士団体の方と問題意識を共通にするとともに、今後連携して取り組んでいける基礎が築けたものと思っております。第2回は1月に開催され、より多くの国の弁理士団体からの参加者をお迎えする予定となっております。

また、今後のグローバル化に対応するために、特 許委員会では明細書の記載要件などの検討も進めて いただいており、この点でも会員の皆様に有意義な 情報を提供できるものと思います。

また、国内での出願件数減少は国内でのイノベーションの低下をもたらす大きな原因となります。そのためには、大企業において日本での特許出願の魅力を高めること、そして中小企業に対して特許や実用新案などを出願することを働きかけることが必要となっております。この点では、実用新案制度の改正も踏まえた検討を行っていただいており、今後の成果を出せるように取り組んでおります。

今年度は、知的財産戦略本部で「知財紛争処理システム検討委員会」が立ち上げられ、原告側の立証の容易化、損害賠償額の適正化などについて議論が進められております。弁理士会からも知財訴訟委員

会の岡部委員長に委員としてご出席いただき、弁理 士会の主張をさせていただいております。特許など の知的財産権も、取得するだけでなく如何に活用を 行うかが、これから非常に重要となってきておりま す。海外ユーザ権利画活用しやすい国を選択して特 許を出願する傾向がより強くなると考えられます。 そのためにも、知財訴訟の分野は非常に重要であ り、今後より権利の活用が進むとともに、知財訴訟 の分野においても弁理士が活躍の幅を広げること で、ユーザのニーズを満たすように取り組んでおり ます。

また今年度は、PBP最高裁判決や、医薬品特許の存続期間延長に関する最高裁判決など、実務に直結する大きな判決がありました。またその他にも、機能性食品に関する審査基準改定など、様々な実務に直結する事項が議論されており、特許委員会、バイオ・ライフサイエンス委員会をはじめとする各委員会の方に対応していただきました。

また、今年度後半には、いわゆる外弁と日本弁護士による混合法人(いわゆるB法人)設立の検討が始まっております。このいわゆるB法人が認められると、B法人による日本国特許庁への特許出願の代理が可能となり、弁理士の業務に対する影響は大きなものとなります。この問題については、会員の皆様のお力を結集して取り組む必要があると思っております。今後とも、是非会員の皆様のご協力をいただければと思っております。

最後に、これまで微力ながら副会長としての職責 を何とか果たすことができましたのも、弁理士連合 クラブの皆様のお力添えと感謝しております。今後 とも何卒よろしくお願い申し上げます。





日本弁理士会副会長 塩野谷 英城

#### はじめに

弁理士連合クラブの皆様には、三派会合をはじめ 日本弁理士会の活動に多大なご協力を頂いており誠 に有難うございます。

この冊子が皆様のお手元に届く頃には、私の副会 長としての任期も残り少なくなっていることと思い ますが、現時点(12月末)での私の担当について 活動報告を申し上げます。

### コンプライアンス委員会

昨年度に「会員の広告等に関する規則」(会令第62号)が改正されましたが、この規則に「会員の広告に関するガイドライン」を対応させるべく、同ガイドラインの改訂を今年度に行いました。今までに増して読み易いガイドラインになりましたので、ご一読いただければ幸いです(最新版は電子フォーラムからダウンロードできます)。

会員への苦情については、昨年度の半分ほどの件数になっており、現時点で11件の申立となっております。

当委員会は、執行理事の渡邉一平先生(弁ク)にも担当頂いております。

#### 弁理士法改正委員会

弁理士を「知的財産に関する専門家」と規定した 新弁理士法の第1条を受けて、弁理士試験を今後ど う改革すべきかについて検討を行いました。答申に は、法域を跨ぐ横断的な知識を問うべき、短答・論 文・口述の3段階を維持すべき、条約や商標も重視 すべき、免除制度を見直すべき、といった言及がな されています。答申書や報告書は電子フォーラムに 公開されていますので、詳しくは答申書等の本文を ご覧頂ければと思います。

また、LLP(有限責任事業組合)の導入のための調査研究も行っています。LLPの導入については委員会の中で賛否両論があり、次年度以降も継続して検討する方向になっています。

### 不正競争防止法委員会

現時点で答申は作成中ですが、技術的営業秘密を 的確に保護するための方策について、ケース毎に具 体的な提案をすること、また、不正競争防止法の保 護を受けるための証拠保全の方法について、不正競 争行為の態様毎に留意点を示すこと、等に取り組ん でいます。

当委員会は、執行理事の笹野拓馬先生(同友会)にも担当頂いております。ありがとうございます。

## 企業弁理士知財委員会

事務所弁理士と企業内弁理士との交流会を東京で開催しました。当日は複数のテーマを設け、事務所弁理士と企業内弁理士とを交えたグループ毎にテーマを検討し、発表を行いました。中には、企業知財部が事務所弁理士に求める本音、事務所弁理士から企業知財部への本音も聞かれました。発表の後はビールとおつまみで懇親を深めました。2月には大阪での開催も予定されています。

当委員会は、執行理事の潮太郎先生(弁ク)にも

担当して頂いております。

### 情報企画委員会

以前より弁理士ナビの日本語版が稼働していますが、現在、弁理士ナビの英語版を準備しています。 海外のユーザが日本の弁理士を見つけやすくするためです。弁理士ナビの英語版は、日本語版よりも情報量を絞るなど仕様の違いもありますので、会員各位により別途情報登録が必要になります。リリースの案内がありましたら、必要に応じて情報登録をお願いいたします。

また、外から見えにくいところですが、会内システムの増強による安定稼働化、弁理士会館のWi-Fi環境改善やIT顧問の導入などを行いました。

当委員会も執行理事の潮先生にお手伝い頂いております。

#### 政務報告WG·議員担当

政務報告WGでは、弁政連の正副会長との会合の中で、本会から弁政連への伝達およびその逆の伝達を行っています。また、議員担当として来会応接や議連開催の手配などを行っています。

## 産構審営業秘密小委サポートWG

産構審営業秘密小委サポートWGは、その名の通り、産構審の営業秘密小委に出席する本会の委員をサポートするWGであり、営業秘密に関連する複数の委員会の代表が集って、本会の方針をまとめています。

#### 企業内弁理士活用WG

企業内弁理士活用WGは、基本的に社内の業務しか行えない企業内弁理士の活用を企画するWGです。具体的な企画はこれからですが、教育に関わることにより、大学等で企業知財の現場を知る人材の育成に貢献できないか、という案があります。

## 法務省の外国法事務弁護士制度に係る検討会

同検討会は、外弁と弁護士との混合法人(B法人)の導入を検討しており、過去に弁理士会と弁政連の反対により混合法人の導入は見送られたのです

が、今年度になって再び導入が検討されています。 反対の理由等について本会へのヒアリングがあった ため、同検討会に粕川副会長と共に出席し再び本会 の反対意見を述べました。議事録や資料については 以下をご覧ください。

http://www.moj.go.jp/housei/gaiben/housei07 00022.html

#### 支部10周年記念行事

私が担当する北海道支部と中国支部の10周年記念行事に出席しました。北海道支部の10周年記念行事は札幌グランドホテルで開催され、弁護士の三村量一氏による研修会の後、祝賀会では、北海道の地域団体商標に登録されている様々な食材がシェフによりアレンジされ、美味しい料理になって登場しました。また、中国支部の10周年記念行事はシェラトンホテル広島で開催され、元特許庁長官の荒井寿光氏による記念講演に続き、祝賀会では地元伝統芸能の大蛇(おろち)が披露されました。いずれの支部も地元の関係機関から多数の来賓が出席され、次の10年に向けた懇親が深められました。

#### むすびに

委員長や外交員として会長を支えている方々を見ると、皆さん、特定の分野への造詣が深くその分野の人脈も豊富です。弁理士連合クラブが再び会長を擁立するときには、連合クラブの中にそういった頼もしい人物が多くいなければいけないと思います。よって、私も分野を絞って地道に研鑽を積んでいこうと思います。弁理士業で生きていくためには自分たちで業界を支えていかなければなりません。皆さん頑張りましょう。



弁理士連合クラブ副幹事長 永岡 重幸

平成27年度弁理士連合クラブの副幹事長を務めさせていただきました永岡重幸です。私は、弁理士クラブから選出された1名の連合副幹事長として、企画委員会と研修委員会を担当させて頂きました。企画委員会は、親睦旅行会の企画・運営と、機関誌『連合』の発行と、ホームページの管理を行う委員会です。本年度は、企画委員会の委員長として安彦元先生(同友)、副委員長として奥和幸先生(弁ク)を選任させていただきました。研修委員会は、研修の企画・運営を行う委員会です。本年度は、研修委員会の委員長として野崎俊剛先生(弁ク)、副委員長として山田武史先生(同友)を選任させていただきました。

企画委員会担当の副幹事長を経験された諸先輩方からは、旅行会の参加人数不足に悩まされ、動員に奔走されたと聞いておりましたので、私もその覚悟を決めておりました。ところが、今年度は予想に反する参加申込を頂戴し、ご来資を含めて約80名の方々に旅行会にご参加頂きました。その結果、大変盛況な旅行会を開催することができました。

旅行先の選定、旅行会当日の進行、ゴルフ大会、 そして旅行会後の清算・報告に至るまでの間、企画 委員会の先生方には多大なるご尽力を頂きました。 弁理士連合クラブの旅行会を無事に行うことができ たのは、忙しい業務の合間を縫って旅行会の準備に ご尽力頂いた企画委員会の方々のご協力の賜物であ り、この場をお借りして深く御礼申し上げます。ま た、旅行会にご参加頂きましたご来賓の皆様、弁理 士連合クラブの会員の皆様にも御礼申し上げます。 機関誌『連合』の発行につきましては、昨年度から発行媒体を電子媒体(当会HP)に変更しましたので、本年度もその形態を踏襲するようにしました。機関誌の発行につきましては、連合クラブ全体の予算等に鑑みた業者の選択を行いましたので、低価格で電子発行ができるものと思います。

研修委員会では、旅行会の1日目に日本弁理士会 副会長の粕川先生を講師にお招きしてタイムスタン プに関する講演をしていただきました。講演の内容 につきましては、研修参加者から高い評価を得たと 聞いております。

若輩者の私が弁理士連合クラブ副幹事長の大役を 最後まで務めることができましたのは、山本晃司幹 事長、石川憲副幹事長、森俊秀副幹事長、各委員会 の先生方並びに弁理士連合クラブの会員の方々のご 協力があったからであり、ここに深く御礼申し上げ ます。





平成27年度、山本晃司幹事長の下、弁理士連合 クラブの副幹事長を務めさせていただいておりま す、森俊秀と申します。私は、弁理士同友会選出の 副幹事長として、総務委員会と政策委員会の2つの 委員会を担当させて頂きました。

総務委員会の仕事は、幹事会・総会の設営および 運営、弔電等の手配、会計処理などの裏方的活動で あり、弁理士連合クラブの日々の活動を下支えする ものです。基本的に総務委員会の仕事はルーティン ワークなのですが、本年度の特筆すべき事項としま しては、山本幹事長のご発案で、弁理士連合クラブ 選出の古谷執行部の役員慰労会を、5月11日に銀 座のクルーズ・クルーズにて開催し、盛会のうちに 終えることができました。古谷執行部の先生方並び に当日出席された会員の皆様には改めて御礼申し上 げます。

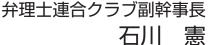
本年度の総務委員会ですが、委員長は大橋剛之先生にお願いし、会計担当の副委員長には飛田高介先生に就任して頂きました。大橋先生は、総会運営や日々の細々とした雑務に骨惜しみなくご対応され、また、飛田先生には速やか且つ正確な会計処理をしていただきました。先生方のおかげで弁理士連合クラブの会務運営を滞りなく進めることができましたことを、心より感謝致します。

次に、政策委員会ですが、委員長には三輪浩誉先生に、副委員長には本田淳先生にそれぞれ就任して頂きました。本年度は、単位会派の政策委員が連合の政策委員をそのまま兼務するのではなく、各単位会派でそれぞれ連合クラブの政策委員を選任して頂

いております。そして、三輪先生、本田先生に各単位会派の意見を集約頂き、弁理士連合クラブの政策委員会ではそれらをベースに連合の政策をしっかりと議論するというスタイルで一年間活動しました。本年度の活動としては、日本弁理士会が随時開催する政策・議案等の説明会に参加するとともに、3回の委員会を開催し、日本弁理士会執行役員会からの要請に対して答申書を提出いたしました。三輪先生、本田先生をはじめとする政策委員会の先生方には、議論の際に的確で鋭いご意見を頂き、多大なご協力を頂きましたことを心より感謝致します。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長として、一年間貴重な経験をすることができました。この場を借りて、山本幹事長、永岡副幹事長、石川副幹事長、他、本年度の弁理士連合クラブの運営にご協力を賜りました会員の皆様に御礼申し上げます。

## 一年を振り返って





山本晃司幹事長のもと、永岡重幸先生、森俊秀先生とともに副幹事長を務めさせて頂きました石川憲と申します。機関紙「連合」の発刊に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本年度、小職は、役員協議委員会(選挙対策委員会) および調整委員会を担当させていただきました。

役員協議員会についてですが、本年度は、委員長 に前年度日本弁理士会副会長を務めてくださった吉 村俊一先生、副委員長に梶俊和先生、委員に丸山英 一元連合幹事長という経験豊富な先生を選りすぐっ た布陣で臨みました。

日本弁理士会の役員選挙の結果は、ご存じの通り、投票を無事回避することができ、連合推薦の先生方全員が見事当選を果たされました。これもひとえに、山本幹事長をはじめ役員協議委員会委員、ひいては、弁理士連合クラブの会員のご協力の賜物であり、深謝いたしております。

役員協議委員会の役割としては、選挙そのもの以外にも当選祝賀会の主催も担っております。本年度は、山本幹事長のご発案により、明るい催し物をということでサンバダンサーチーム「Danca MeG☆raca」の方々にサンバをご披露頂きました。

当選祝賀会では、例年、余興を行うことがなく、 初めての試みではございましたが、ご来賓の方々も 踊りに加わってくださり、祝賀会も大いに盛り上が り、まさに当選のお祝いにふさわしい会となりまし た。私自身は、祝賀会等で余興の手配を行ったこと がなく、進行がうまくいくかどうか不安ではありま したが、司会を務めて下さった瀧澤匡則先生、田辺 恵先生の御両名の尽力で滞りなく祝賀会を終えるこ とができました。

このように非常に楽しい祝賀会でありましたので、次年度以降も引き継いでいっていただきたいと個人的には考えております。

調整委員会は、本年度は、委員長に伊藤進先生、 副委員長に小川眞一先生、委員に田辺敏郎先生、船 津暢宏先生、黒田壽先生、瀧澤匡則先生という役員 協議委員会同様に豪華な布陣で臨みました。本年度 は、特に、弁理士クラブ様、弁理士同友会様とで調 整する事柄もございませんでしたので、動きがござ いませんでした。

最後になりますが、弁理士連合クラブの副幹事長として山本幹事長の鮮やかな采配を間近に見ることができ、非常に勉強になった年でありました。次年度は、この経験を生かし次年度幹事長職を全うできるよう全力で当たりたいと思う所存でございます。

若輩者ではございますが、弁理士連合クラブの先生方におかれましては、何卒、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせて頂きたいと存じます。

# 平成27年度弁理士連合クラブのあゆみ

 $(2015.1.1 \sim 2015.12.31)$ 

平成27年1月26日	第1回政策委員会
1月30日	本会執行部からの三派向け説明会
	ダブルブランド規制
1月31日	機関紙『連合』第25号発行
	初の電子版
2月6日	弁理士連合クラブホームページリニューアル
2月12日	第4回常議員会議案説明会
2月16日	第1回正副幹事長会
2月26日	第1回幹事会、第1回定時総会、懇親会・古谷会長を励ます会
	事業報告、決算、事業計画、予算、人事報告、等
3月 4日	日本弁理士政治連盟役員との懇談会
3月13日	東海協議会/慰労・激励会
	西日本弁理士クラブ/慰労・激励会
3月14日	親睦ゴルフ大会
	西日本弁理士クラブ主催
4月13日	第1回役員協議委員会
	当選祝賀会について
4月20日	本会執行部からの弁理士連合クラブ向け説明会
	知財キャラバン活動
4月22日	第2回常議員会議案説明会
5月11日	古谷執行部慰労会
5月18日	第2回政策委員会
	平成27年度事業計画の検討
6月 6日	日本弁理士クラブ旅行会(道後温泉)
7月 4日	西日本弁理士クラブ旅行会(金沢)
8月 5日	知財政策懇談会
8月14日	第1回企画委員会
8月26日	第3回政策委員会
	日本弁理士会役員選挙制度改正案の検討
9月 5日	弁理士連合クラブ旅行会・研修会 (伊豆稲取)
9月 5日	三派協議
9月6日	弁理士連合クラブ親睦ゴルフ大会

9月8日第2回幹事会、第2回定時総会<br/>日本弁理士会役員候補予定者の推薦の件9月16日立候補受付・選挙運動開始9月24日候補者確定・当選人決定<br/>無投票当選確定9月29日弁理士連合クラブホームページのコンテンツ拡充11月6日西日本弁理士クラブ創立60周年祝賀会11月24日第3回幹事会、第1回臨時総会<br/>次年度弁理士連合クラブ役員人事の承認の件11月24日弁理士連合クラブ当選祝賀会11月26日日本弁理士クラブ当選祝賀会

## 総務委員会

## 委員長 大 橋 剛 之

### 1. 委員会の構成

 委員長
 大橋剛 之(同友)

 副委員長
 税田高介(弁ク)

 委員株田高介(弁ク)

 佐々木まどか(弁ク)

 茂木康彦(同友)

 陸名智之(同友)

担当副幹事長 森 俊 秀 (同友)

### 2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

#### 3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会 則等改正の審議及び答申

## 4. 活動報告

(1) 第1回幹事会/第1回定時総会

開催日時 平成27年2月26日 (木)

幹事会 18:00~/定時総会 18:30~

場 所 商工会館

議 案

- ①第1号議案(趣旨説明:永岡 重幸 副幹事長) 平成26年度弁理士連合クラブ事業報告の承認 を求める件
- ②第2号議案(趣旨説明:石川 憲 副幹事長) 平成26年度弁理士連合クラブ会計報告の承認 を求める件
- ③第3号議案(趣旨説明:山本 晃司 幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブ事業計画の承認

を求める件

- ④第4号議案(趣旨説明:森 俊秀 副幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブ予算の承認を求 める件
- ⑤第5号議案(趣旨説明:山本 晃司 幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブの委員長等選任 の承認を求める件
- ⑥報告事項(報告者:山本 晃司 幹事長)平成27年度弁理士連合クラブ役員等選任に関する報告
- ⑦その他

※なお、第5号議案は幹事会のみであり、定時 総会では報告事項

(2) 懇親会・古谷会長を励ます会

開催日時 平成27年2月26日 (木)

19:15~21:00

場 所 霞山会館

司 会 総務委員長 大橋 剛之

式次第

①開会の辞 森 俊秀 (副幹事長)

②幹事長挨拶 山本 晃司 (幹事長)

③山川茂樹前幹事長への感謝状・記念品の贈呈

山本 晃司 (幹事長)

④ご挨拶

弁理士同友会幹事長 青山 仁 殿 弁理士クラブ幹事長 船津 暢宏 殿

⑤古谷会長への励ましの言葉

相談役 永井 義久 殿

⑥日本弁理士会会長ご挨拶

日本弁理士会会長 古谷 史旺 殿

⑦乾杯 羽村 行弘 殿

<歓談>

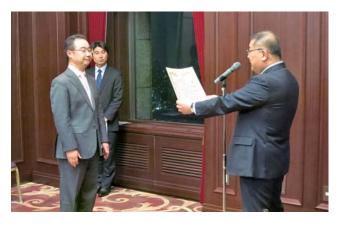
⑧中締めのご挨拶

相談役 山川 茂樹 殿

⑨閉会の辞 森 俊秀(副幹事長)









(3) 古谷執行部慰労会

開催日時 平成27年5月11日 (月)

19:00~21:00

場 所 クルーズクルーズ THE GINZA

司 会 総務委員長 大橋 剛之

式次第

①開会の辞 森 俊秀 (副幹事長)

②幹事長挨拶 山本 晃司 (幹事長)

③単位会派幹事長からの慰労のお言葉 弁理士同友会幹事長 青山 仁 殿 弁理士クラブ幹事長 船津 暢宏 殿

④古谷前会長からのご挨拶…会長退任のご報告 平成25·26年度会長 古谷 史旺 殿

⑤乾杯

平成25年度連合幹事長 山川 茂樹 殿 <歓談 >

⑥古谷執行部副会長及び執行理事からひと言平成25年度副会長 富澤 孝 殿 (弁ク)同 石川 憲 殿 (同友)

平成26年度副会長 中川 裕幸 殿 (弁ク) 同 吉村 俊一 殿 (同友) 平成25·26年度執行理事

濱田百合子 殿 (弁ク)

同 小川 眞一 殿 (同友)

平成25年度執行理事 岸本 達人 殿 (弁ク)

同 本田 淳 殿 (同友)

平成26年度執行理事 渡邊 喜平 殿 (弁ク)

<歓談>

⑦古谷前会長への花束贈呈

坂口 信昭 殿

⑧中締めのご挨拶

相談役 永井 義久 殿

⑨閉会の辞 大橋 剛之(総務委員長)

(4) 第2回幹事会/第2回定時総会

開催日時 平成27年9月8日(火)

幹事会 18:30~/ 定時総会 19:00~

場 所 弁理士会館

### 議 案

①第1号議案(趣旨説明:石川 憲 副幹事長) 平成28年度日本弁理士会役員(副会長・監 事・常議員)候補予定者の推薦について承認を求 める件

②報告事項1(報告者:森 俊秀 副幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブ会務中間報告

③報告事項2(報告者:森 俊秀 副幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブ会計中間報告

④ その他

役員選挙候補予定者(副会長・監事・常議員) からの挨拶 (5) 第3回幹事会/第1回臨時総会 開催日時 平成27年11月24日 (火)

幹事会 17:00~

臨時総会 17:30~

場 所 銀座キレイが丘 (貸会議室)

議 案

①第1号議案(趣旨説明:森 俊秀 副幹事長) 平成28年度弁理士連合クラブ役員等の選任に ついて承認を求める件

②報告事項(報告者:森 俊秀 副幹事長) 平成27年度弁理士連合クラブ会務報告

以上









# 政策委員会

## 委員長 三 輪 浩 誉

## 1. 委員会の構成

委 員 長 三輪浩營(弁ク) 副委員長 淳(同友) 本 田 委 員 伊 藤 進(弁ク) 委 員 濱 田 百合子(弁ク) 委 員 本 一 騎 (弁ク) 松 委 員 熊 井 寛(弁ク) 委 員 野 崎 俊 剛 (弁ク) 委 員 美川公司(弁ク) 委 坂 口 信 昭 (同友) 員 委 員 村 盛 夫 (同友) 中 委 夫 (同友) 員 田昭 飯 委 員 充 (同友) 関 昌 委 員 伊賀誠司(同友) 幹 (同友) 委 員 井 澤 担当副幹事長 森 俊 英(同友)

## 2. 職務権限

政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政 策についての調査、研究に関する事項を行う。

#### 3. 委嘱事項

- (1) 常議員会、総会議案への対応
- (2) 本会からの意見募集への対応
- (3) 中長期的テーマの継続検討

#### 4. 活動報告

(1) 組織改革特別委員会の中間答申書に対する意見 提出

日本弁理士会の組織改革特別委員会によってま とめられた「中間答申書 日本弁理士会の今後の 組織のあり方」に対して、弁理士クラブ及び弁理 士同友会の夫々の政策委員会で議論された内容を 元に、弁理士連合クラブの意見をとりまとめ、執 行部に提出しました。

#### (2) ダブルブランドの規制に対する検討

ダブルブランドが問題となっているケースが散見されることを踏まえて、ダブルブランドの現状の把握、ダブルブランドの問題点の把握、ダブルブランドを規制した場合のメリット及びデメリット、今後の検討事項について、政策委員会で議論しました。

(3) 日本弁理士会の2015年度事業計画に対する意 見提出

2015年度の事業計画に対して、弁理士クラブ 及び弁理士同友会の夫々の政策委員会で議論され た内容を元に、弁理士連合クラブの意見をとりま とめ、執行部に提出しました。

特に、目玉の政策ともなり得る弁理士知財キャラバンについて、活発な議論が交わされました。 議論の多くは、知財キャラバンを展開していった 場合の問題点を指摘するものでしたが、改善を促す意見をとりまとめ、事業計画の改善に多少なり とも役立ったのではないかと推測しております。

(4) 役員選挙の投票制度の見直しに対する意見提出 日本弁理士会の役員制度改革委員会によってま とめられた「答申書 役員選挙の投票制度に関し て」に対して、弁理士クラブ及び弁理士同友会の 夫々の政策委員会で議論された内容を元に、弁理 士連合クラブの意見をとりまとめ、執行部に提出 しました。現在の郵便投票に代えて直接投票を原 則とするという答申書に対して、政策委員会内に おいても賛成派の意見及び反対派の意見が飛び交 う活発な議論が交わされ、その結果、有意義な意 見を提出できたのではないかと考えております。

# 企画委員会

## 委員長 安 彦 元

## 1. 委員会の構成

 委員長
 安彦
 元(同友)

 副委員長
 奥
 和幸(弁ク)

 委員
 柿本邦夫(弁ク)

 徳増あゆみ(同友)
 永井望(弁ク)

駒 場 大 視 (同友)

担当副幹事長 永 岡 重 幸

#### 2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関紙の編集、発行に関する事項を行う。

### 3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関誌の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の 立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

## 4. 活動報告

(1) 第1回企画委員会

日 時:平成27年7月10、11日

場 所:伊豆稲取 銀水荘

議題:旅行会の候補地の下見、現地での各施 設、設備、段取り等の確認について

(2) 第2回企画委員会

日 時:平成27年7月22日

場 所: 弁理士会館地下1階会議室

議 題:旅行会の役割分担、段取り等の確認、機

関紙及び連合クラブホームページの管理 方針について

(3) 第3回企画委員会

場 所: 弁理士会館地下1階会議室

議 題:旅行会の役割分担、段取り等の確認、機 関紙及び連合クラブホームページの管理 方針について

- (4) 平成27年度弁理士連合クラブ旅行会の実施 平成27年9月5日(土)~6日(日)にかけ て伊豆稲取 銀水荘において開催した。研修講師 1名を含め79名もの先生方の参加を得て盛大に 開催された。
- (5) 平成27年度弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会 例年通り、旅行会の2日目に「稲取ゴルフクラブ」において弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会 を開催。天候にも恵まれ、6組20名の参加を得て盛大なゴルフ大会となった。
- (6) 平成27年度弁理士連合クラブ旅行会観光 昨年に引き続き、今年もゴルフ大会とは別に観 光を手配。17名の先生方が参加され、チャー ターバスを利用して下田を周遊。下田港内めぐり 遊覧船、下田開国博物館、了仙寺(ペリーロード 散策)、下田市内で昼食、下田ロープウェイにて 寝姿山登山を楽しみ、参加者間の親睦を図った。
- (7) ホームページの維持、管理

今年度は、既存の弁理士連合クラブのホームページに、幹事長挨拶、組織図、年間行事のページを新たに追加することで、コンテンツの拡充を図った。

(8) 機関紙の発行

機関誌発行体制を見直し、発行費用の大幅な削減を実現した。

# 調整委員会

委員長 伊藤 進

## 1. 委員会の構成

 委員長
 伊藤
 進(弁ク)

 副委員長
 小川眞一(同友)

 委員
 田辺敏郎(同友)

 船津暢宏(弁ク)
 票(弁ク)

 滝澤匡則(弁ク)

### 2. 職務権限

単位クラブ間の問題を調整し解決を図ると共に弁理士連合クラブの在り方の検討を行う。

## 3. 諮問事項

原稿を書いている時点では諮問事項はありません でした。

## 4. 活動報告

本委員会は、職務権限のとおり、弁理士連合クラブを組織する弁理士同友会及び弁理士クラブとの間における意思の疎通を図る為に設置された委員会であり、両クラブ間において調整することが必要な問題などが生じた場合に、必要に応じて幹事長が諮問を出し、両クラブ間における調整を円滑に行うためにあります。

## 役員協議委員会 委員長 吉 村 俊 -

## 1. 委員会の構成

 委員長
 吉村俊一(同友)

 副委員長
 梶俊和(弁ク)

 委員
 丸山英一(同友)

 担当副幹事長
 石川

### 2. 職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、 選挙活動の統括を行う。

## 3. 委嘱事項

- (1) 平成28年度日本弁理士会役員定時選挙への対応
- (2) 選挙当選祝賀会の企画及び実行

### 4. 活動報告

- (1) 4月13日 本年度の選挙情勢、選挙日程、当選 祝賀会についての検討を行った。
- (2) 選挙当選祝賀会の日程と場所を決定した。
- (3) 8月28日 午後3時から日本弁理士会選挙管理 委員会の選挙説明会に役員協議委員会委員長が出 席し、選挙管理委員会から説明を聞くとともに、 ガイドラインその他の資料を入手した。
- (4) 選挙立会人の人選を依頼した。
- (5) 9月16日 会派毎に立候補届けを日本弁理士会に提出した。
- (6) 9月18日 午後5時過ぎに立候補者数と定員が一致していることを確認した。この時点で、弁理 士連合クラブ推薦の候補者全員の当選が確定した。
- (7) 9月24日 午後5時過ぎに立候補の辞退がなかったことを確認した。この時点で補欠選挙が無いことを確認した。
- (8) 来賓者及び他会派への当選祝賀会の案内状等を 準備した。
- (9) 11月24日 午後6時半~コートヤード・マリ

オット・銀座東武ホテルにて当選祝賀会を開催した。参加者は約80名で、サンバチームによるダンスの披露もあり、当選祝賀会は盛大に行われた。

本年度は会長選挙が行われない年であり、役員協議委員会としては比較的平穏な年であった。副会長選挙、監事選挙、常議員選挙については、立候補者数が定数どおりであり、連合クラブ推薦の候補者も全員当選することができた。役員協議委員会としては、穏やかな気持ちで当選祝賀会を開催することができた。選挙当選祝賀会は、初企画としてサンバチームを招待し、祝賀会は大変盛況となった。

## 5. 弁理士連合クラブ推薦の当選者

副会長 斎藤美晴(弁ク) 田 中雅雄(同友) 副会長 監 事 林 實 (同友) 淳(弁ク) 常議 員 中 島 小河原 敬 一(弁ク) 常議 員 常 議 美川公司(弁ク) 員 保 (同友) 常議員 小 林 三 島 広 規 (同友) 常議 員 常議員 小 野 友 彰 (同友)

## 研修委員会

## 委員長 野 崎 俊 剛

## 1. 委員会の構成

委 員 長 野 崎 俊 剛 (弁ク) 副委員長 山 田 武 史(同友) 委 員 笹川 拓 (同友) 下 田 憲 雅(弁ク) 委 員 研修司会 永 井 望(弁ク) 担当副幹事長 永 岡 重 幸(弁ク)

## 2. 職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司 法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓 蒙を行う。

#### 3. 諮問事項

- (1) 弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催(弁理士としてのスキルアップ用研修の開催)
- (2) その他、必要があれば、連合会員にとって有益な研修の開催

### 4. 活動報告

本年度は、静岡県賀茂郡東伊豆町の稲取温泉で行われた平成27年度弁理士連合クラブ旅行会において、下記のとおり研修会を開催しました。

「タイムスタンプの基礎知識と活用方法」

日 時:平成27年9月5日(土)

15:00~16:30

※旅行会初日

講師: 粕川敏夫先生(粕川特許商標事務所)

会 場:ホテル銀水荘2階「桃山の間」

参加人数:29名

内 容:

先に発表された「知的財産推進計画2015」の中 に、営業秘密や先使用権の保有の立証のために「タ イムスタンプ情報を長期保管するシステム」が明記されました。そして、この方針に基づいて、INPITで「タイムスタンプ」の長期保存のためのシステム構築がされており、来年度には動き出す予定となりました。本件研修では、タイムスタンプの技術について基礎知識をご講演いただくとともに、弁理士の業務としての活用法や今後の展開についてご講演いただきました。

講演においては、粕川先生が作成された図などを 用いて、タイムスタンプの基本的な仕組みや制度、 我々弁理士にとって有益な知的財産分野での活用、 そして中国タイムスタンプの現状など、タイムスタ ンプの原理から実務上注意すべき点を、分かりやす く解説して頂きました。実務に活用できる充実した 内容であり受講生に大変講評でした。

### 5. おわりに

日本弁理士会副会長としてご多忙にも拘わらず、 研修会の講師を快く引き受けて頂いた粕川敏夫先生 に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

また研修会の司会を行ってくださった永井望先生にも、大変感謝申し上げます。

日本弁理士会では継続研修が盛んに行われておりますが、連合クラブにおいても、弁理士会とは違った観点の勉強ができる研修を行っております。連合クラブ会員の資質向上を図るため、少しでも会員の先生方のお役に立てることができる研修の運営を進めていく必要があると思われます。

## 第25回連合旅行会・ゴルフ大会

平成27年9月5日(土)~6日(日) 伊豆稲取 銀水荘 稲取ゴルフクラブ

# 幹事長一押しの面白企画で大盛況

企画委員長 安 彦 元



9月5日(土)~6日(日)伊豆稲取 銀水荘にて弁理士連合クラブ第25回旅行会が開催されました。伊豆稲取は、伊豆東海岸に小さく突き出た岬にあり、熱海から更に伊豆東海岸に沿って1時間程度かかります。相模湾を臨める露天風呂からの景色はまさしく絶景であり、普段の業務の疲れやストレスが一気に吹っ飛んでしまうような癒しのスポットです。そのおかげで、今年は総勢78名という大勢の先生方に御参加いただき、非常ににぎやかなひと時を過ごすことができました。

今年の旅行会の例年通り研修会で幕を開けます。 研修会では、弁理士同友会の粕川敏夫先生から「タ イムスタンプの基礎知識と活用方法」についてご講 演いただきました。タイムスタンプの技術について 基礎知識についてお話しに加え、弁理士の業務とし ての活用法や今後の展開も事例を踏まえてご教示い ただき非常に有益な研修でした。



研修終了後、宴会開始までには少々時間があるため、先生方は絶景の露天風呂に浸かるなど、自由な時間を楽しんでおられました。宴会開始の写真撮影も参加者の皆様のご協力により、手際よく進めさせていただくことができました。

写真撮影後の宴会は、弁理士連合クラブ幹事長の 山本晃司先生によるご挨拶から始まり、次に日本弁 理士会会長の伊丹勝先生のご挨拶、日本弁理士クラ ブ幹事長の西島孝喜先生のご挨拶、西日本弁理士ク ラブ幹事長の佐木啓二先生のご挨拶をいただきまし た。そして乾杯のご発声は、前日本弁理士会会長の 古谷史旺からいただき、しかも巨大な杯に並々と注がれた食前酒を一気に飲み干していただきました。

















乾杯の後は、コンパニオンさんも含めた大歓談会です。会派、年代関係なく、和気藹々と盛り上がっていただきました。また食事については思わず唸ってしまうような絶品の料理ばかりであり、最後に出された旅館の名物であるコーンポタージュに皆様も舌鼓を打っておられました。コンパニオンのお姉さまのおもてなしもあったせいか、時が立つのが短く感じられ、あっという間に中締めの時間になりました。

宴会の中締めは、弁理士連合クラブ相談役の永井 義久先生にしていただきました。最後の閉会の辞 は、弁理士連合クラブ副幹事長永岡重幸先生からい ただきました。

宴会の後の二次会は、カラオケホールに場所を移して行われました。コンパニオンのお姉さまの誘導もあったせいか殆どの参加者がカラオケホールに移動しました。その結果、50人収容のカラオケホールに全員入りきれなくなってしまい、急遽隣のカラオケルームを開放して2部屋で二次会を開催することとなりました。二次会では各人がステージに上がり思い思いに好きな歌を歌って盛り上がる形式です。

この二次会では何と、今までに無い面白い企画が ありました。何と、コンパニオンさんがいろいろな 種類のコスプレの衣装を準備していたのです。つまりコスプレを楽しみながらカラオケで歌を歌う企画だったのです。これも山本幹事長の一押しの企画だったとか。用意されていたコスプレは、女装グッズから始まり・・・・これ以上私の口からは恥ずかしくて言えませんし、写真も掲載できませんが、具体的にどのようなコスプレが用意されていたかは、読者の皆様のご想像にお任せしたいと思います。

この企画では、山本幹事長が率先して変身された お姿で壇上で歌われ、場内は今まで経験したことが 無いような盛り上がりでした。それを見ていた他の 参加者が「俺もやらしてくれ」と言わんばかりにこ ぞって変身され、普段まじめに仕事をされている先 生方の別の一面が見れて笑いが絶えないひとときで した。宴会の進行をサポートしていただいた女性の 添乗員も、「こんなの初めてです」と言いながらと ても楽しそうに見てました。

このようにして大いに羽目を外すことでストレス を発散していただくのは、大切なことであることも 分かったような気がしました。

その後、大部屋に集まり、有志のみで三次会を開催しました。夜の1時までいろいろと語り合い、楽 しいひと時を過ごしていただきました。

翌日は、観光組、ゴルフ組、自由行動組に分かれます。ゴルフ組は、朝一番でバスで稲取ゴルフクラブに移動いただき、合計6組20名でスタートしました。曇り空でそれほど暑くも無く、コンディションにも恵まれ、参加された先生方一同楽しくラウンドして下さいました。ゴルフ大会の詳細は、幹事の吉村俊一先生に委ねます。

観光組は、伊豆下田周遊の旅を開催しました。貸切のバスに乗り込み、30分程のドライブで下田港に着きました。下田港内めぐり遊覧船で下田の海の旅を楽しみました。人懐っこいカモメのアクロバットショーを至近距離で見ることができるというおまけもついていました。次に下田開国博物館を訪問しました。ペリー来航から開国に至るまでの幕末開港の歴史を見ることができました。あの当時のペリー来航は、まるで今で言うところのUFOがやってくることと同じくらい衝撃的な出来事であったかとい

うことを、この博物館の展覧が教えてくれました。 その後、ペリーロードという風流な道をみんなで散 策して楽しみました。昼食は、下田市内の料理屋で 地魚を味わい、アルコールも入ってほろ酔い気分に なりました。最後に下田ロープウェイにて寝姿山に 登り、頂上から下田市内を一望しました。

結びになりますが、旅行会にご参加いただました 皆様に心からお礼を申し上げます。また、皆さまに は、不慣れな旅行会準備と進行のため色々とご不便 とご迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借 りてお詫び申し上げます。今回の旅行会に懲りるこ となく、また次回の旅行会も御参加いただくことを 願っております。







# 9月6日<ゴルフ大会の部>

ゴルフ大会幹事 吉村 俊一

弁理士連合クラブ旅行会ゴルフ大会は、例年どお り、旅行会2日目の9月6日(日)に伊豆稲取の 平成27年9月6日(日) 於:稲取ゴルフクラブ 「稲取ゴルフクラブ」で開催されました。

稲取ゴルフクラブのある東伊豆町は、ゴルフ日本 一の町としても有名で、道路脇には、「東伊豆町は ゴルフ日本一を宣言します。異議ある市町村の挑戦 を待つ!」の看板が掲げてありました。今までの挑 戦は全て跳ね返してきているそうで、町民大会は 300人を超えることもあり、ゴルフがとても盛んだ そうです。宿泊ホテルだった銀水荘の社長は、町の ゴルフ会会長とのことです。私の組のキャディのお じさん(70歳超)も普通に80台で回るそうで、過 去の対戦の様子を話してくださいました。

さて、ゴルフ大会は、6組20名で行いました。 曇り空で暑くもなく、絶好のゴルフ日和でした。け が人もなく、和気あいあい、皆さん楽しくラウンド して下さいました。

表彰式は大いに盛り上がりました。距離が長い コースだったせいか、スコアはあまり伸びませんで したが、新ペリアでの順位争いは接戦でした。優勝 は無名会幹事長の斉藤康先生、準優勝は弁理士クラ ブの永井義久先生、3位はPA会幹事長の坂本智弘 先生でした。飛び賞(5位の樺澤先生、10位の木 下先生、15位の真田先生)は、やはり商品だけは 必ず持って帰るという面々が獲得しました(笑)。 ちなみに、ベスグロは私がいただきました(ありが とうございます/笑)。

## 第25回連合旅行会・ゴルフ大会成績

RANK	NAME	海	山	GROSS	HDCP	NET
優勝	斉藤	康 54	- 55	109	34.8	74.2
準優勝	永井 義	久 46	48	94	19.2	74.8
3位	坂本 智	弘 45	54	99	24.0	75.0
4位	井上 誠	- 49	53	102	26.4	75.8
5位	樺澤	聡 50	50	100	24.0	76.0
6位	北村修一	郎 52	52	104	27.6	76.4
7位	吉村俊	<b>–</b> 44	. 44	88	10.8	77.2
8位	青山	仁 55	54	109	31.2	77.8
9位	石川	憲 57	49	106	27.6	78.4
10位	木下 實	≣ 41	51	92	13.2	78.8
11位	平山	淳 53	57	110	31.2	78.8
12位	布施 行	夫 50	52	102	21.6	80.4
13位	永岡 重	幸 61	53	114	33.6	80.4
14位	佐木 啓	_ 56	55	111	30.0	81.0
15位	真田	有 66	59	125	43.2	81.8
16位	田辺	恵 67	74	141	58.8	82.2
17位	西島孝	喜 51	54	105	21.6	83.4
18位	徳増あゆ	<del>광</del> 61	71	132	48.0	84.0
19位	楠本 高	義 66	63	129	44.4	84.6
20位	本多 敬	子 68	68	136	48.0	88.0



## 平成27年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

ઌૺૹૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢૹઌૡૹૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢૹઌૡૹૢ૱ઌૡૢૹઌૡૹૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢૹઌૡૹ૱ઌૹૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢ૱ઌૡૢૹઌૡૹૢ૱

幹事長 山本 晃司 (弁ク)

副幹事長 永岡 重幸(弁ク)(企画委員会、研修委員会) 森 俊秀(同友)(総務委員会、政策委員会)

石川 憲 (同友) (役員協議委員会、調整委員会)

幹 事 (同友) 小川 眞一 山田 武史 吉村 俊一 安彦 元 本田 淳 大橋 剛之

(弁ク)世良 和信 渡邉 一平 岸本 達人 小國 泰弘 梶 俊和

絹谷 晴久

監 事 真田 修治(弁ク) 坂本 光雄(同友)

相談役 (同友) 原田 信市 佐々木 功 磯野 道造 菊池 新一 小池 晃 田辺 敏郎 古谷 史旺 小林 正治 吉田 芳春 小川 眞一

丸山 英一

 (弁ク) 古谷
 馨
 山川
 政樹
 絹谷
 信雄
 伊藤
 進
 須山
 佐一

 中島
 淳
 木下
 實三
 永井
 義久
 川久保
 新一
 渡邉
 一平

 山川
 茂樹

委 員 会 総務委員会

委員長 大橋 剛之(同友)

副委員長 飛田 高介(弁ク)

委 員 (同友) 茂木 康彦 陸名 智之

(弁ク) 柿本 邦夫 佐々木 まどか

政策委員会

委員長 三輪 浩誉(弁ク)

副委員長 本田 淳(同友)

委 員 (同友) 坂口 信昭 飯田 昭夫 中村 盛夫 伊賀 誠司 関 昌充

井澤 幹

(弁ク) 伊藤 進 濱田 百合子 松本 一騎 熊井 寛 野崎 俊剛

美川 公司

## 企画委員会

委員長 安彦 元 (同友)

副委員長 奥 和幸(弁ク)

委 員 (同友) 徳増 あゆみ 駒場 大視

(弁ク) 柿本 邦夫 永井 望

## 役員協議委員会

委員長 吉村 俊一(同友) 副委員長 梶 俊和(弁ク) 委 員 丸山 英一(同友)

## 調整委員会

委員長伊藤 進 (弁ク)副委員長小川 眞一 (同友)

委 員 (同友) 田辺 敏郎

(弁ク) 船津 暢宏 黒田 壽 瀧澤 匡則

## 研修委員会

委員長野崎 俊剛 (弁ク)副委員長山田 武史 (同友)委員(同友) 笹川 拓<br/>(弁ク) 下田 憲雅

## 弁理士連合クラブ歴代役員

【平成元年度】

幹事長

副幹事長

事

幹

古谷 馨

佐々木功 佐藤孝雄 原田信市 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄

志賀正武 下田容一郎 武田賢市

土橋 皓 中山 清 丹波宏之 古谷史旺 山川政樹 米屋武志

仁平 孝 渡邊喜平

【昭和62年度】 選挙対策委員会

委 員 長 佐々木功

幹事長 山川政樹

副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎

幹 事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦 菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄

土橋 皓 中畑 孝 中山 清

原田信市 古谷 馨 米屋武志

監 事 佐々木秋市 丹波宏之

顧 問 当分の間置かない

【昭和63年度】 監事 安達房次郎 須田孝一郎

幹事長 山川政樹 総務委員会

副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎 委員長 須山佐一

幹 事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦 副委員長 吉田精孝 菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄 委 員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保 土橋 皓 中畑 孝 中山 清 小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎

土橋 皓 中畑 孝 中山 清原田信市 古谷 馨 米屋武志

監 事 佐々木秋市 丹波宏之 顧 問 当分の間置かない 政策委員会

総務委員会 委員長 原田信市

委員長 山元俊仁 副委員長 守谷一雄

委員長 磯野道造 松田雅章 真田修治

副委員長 小田治親

委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修 企画委員会 守谷一雄 須山佐一 木下實三 委員 長 唐木浄治

三澤正義 羽村行弘 副委員長 木村高久

委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男 企画委員会 渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫

委員長 紺野正幸 小林正治 今野耕哉

副委員長 森 哲也

委 員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎 選挙対策委員会

辻 実 中山伸治 松田雅章 委員長 丹羽宏之

村田幹雄 渡邊喜平

【平成2年度】 委 員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄 富田和子 羽村行弘 森正 澄 幹事長 佐々木功 八鍬 昇 渡部敏彦 副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎 天野 泉 小池 晃 絹谷信雄 政策委員会 木下實三 紺野正幸 志賀正武 委員長 中島 淳 土橋 皓 中畑 孝 中山 清 副委員長 坂口信昭 原田信市 山川政樹 米屋武志 委 員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司 監 秋本正實 武田賢市 黒田博道 今野耕哉 竹内 裕 事 三澤正義 紺野正幸 総務委員会 委員長 企画委員会 小林正治 副委員長 山崎輝緒 委 員 長 黒川弘朗 委 員 副委員長 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久 齋藤美晴 秋山 修 北村 仁 小林正治 竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇 委 員 仁平 孝 羽村行弘 竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫 吉田芳春 渡邉一平 政策委員会 委員長 下田容一郎 選挙対策委員会 委員長 副委員長 坂口信昭 佐藤孝雄 副委員長 委 員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正 天野 泉 委 員 大塚明博 木下實三 下田容一郎 中島 淳 原田信市 三澤正義 須山佐一 永井義久 中澤健二 守谷一雄 山元俊仁 中畑 孝 中山伸治 企画委員会 委員長 吉田精孝 【平成4年度】 副委員長 渡部敏彦 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔 幹事長 委員 原田信市 永井義久 仁科勝史 松田雅章 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳 副幹事長 本宮照久 渡邉一平 伊藤 進 菊池新一 木下實三 幹 事 佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一 選挙対策委員会 田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺 委員長 絹谷信雄 山崎輝緒 山本彰司 米屋武志 監 事 磯野道造 紺野正幸 【平成3年度】 総務委員会(担当 中島) 幹事長 菊池新一 委員長 黒川弘朗 副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄 副委員長 永井義久 幹 事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄 委 員 大島陽一 小川利春 高橋康夫 志賀正武 武田賢市 土橋 皓 平山一幸 小倉正明 坂本光雄 中島 淳 中山 清 原田信市 竹山宏明 山本義明 古谷史旺 山川政樹 山元俊仁 監 事 小田治親 佐々木功 政策委員会(担当 志賀)

総務委員会

委員長

吉田精孝

副委員長 木村高久

委員長

委 員

副委員長 戸村 隆

佐藤孝雄

内田和男 紺野正幸 齋藤美晴 守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春

副委員長 関口俊三

委 員 川久保新一 富田和子 牧野剛博

村上光司 井澤 洵 鈴木次郎

西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳

副委員長 竹内 裕

委 員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信

渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎

古谷史旺 米屋武志

【平成5年度】

幹事長 絹谷信雄

副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳

幹 事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎

森哲 也 大橋 弘 山本彰司 小池 晃

(弁ク) 伊藤 進 木下實三

木村高久 佐藤孝雄

仁平 孝 山崎輝緒

監 事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝

副委員長 今野耕哉

委 員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博

土川 晃 坂本光雄

(弁ク) 川久保新一 富田和子

油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉

副委員長 渡邊喜平

委 員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭

黒川弘朗 川村恭子

(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅

遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久

副委員長 秋山 修

委 員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫

仁科勝史 吉田芳春

(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫

真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治

副委員長 守谷一雄

委員(桜門)恩田博宣本田崇

古谷史旺 森哲 也

(弁ク) 三澤正義 内田和男

山田明信 石川泰男

【平成6年度】

幹 事 長 米屋武志

副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三

幹 事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進

須山佐一 中島 淳

三澤正義 永井義久

(同友) 森 哲也 大橋 弘

黒川弘朗 小池 晃

吉田精孝 小林正治

監 事 (弁ク) 小田治親

(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)

副委員長 黒田博道(弁ク)

委員 (弁ク)原田 寛 北村 仁

渡邉一平 井上 一

(同友) 今野耕哉 小倉正明

本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)

副委員長 古谷史旺(同友)

委 員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸

真田修治 齋藤美晴

(同友) 天野 泉 坂口信昭

大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山修(同友)

副委員長 永井義久(弁ク)

委 員 (弁ク)渡部敏彦 川久保新一

布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚 羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長三澤正義(弁ク)副委員長中澤健二(同友)

委 員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護 石川泰男 半田昌男

> (同友) 積田輝正 中山伸治 本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク) 副委員長 井澤 洵(同友)

委 員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道 (同友) 菊池新一 吉田精孝

#### 【平成7年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)

副幹事長 小池 晃(同友)

古谷史旺(同友) 伊藤 進(弁ク)

幹 事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄

田辺敏郎 中山伸治

羽村行弘 吉田精孝

(弁ク) 須山佐一 中島 淳 永井義久 仁平 孝

三澤正義 守谷一雄

監 事 (同友) 積田輝正

(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)

副委員長 小林 保(同友)

委 員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄

花村 太 山本義明

(弁ク) 井上誠一 黒田 壽

塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)

副委員長 齋藤美晴(弁ク)

委 員 (同友) 田村榮一 仁科勝史

本田 崇 森 哲也

(弁ク) 川久保新一 中川裕幸 服部雅紀 松田雅章 企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)

副委員長 磯野道造(同友)

委員(同友)大貫和保桑原稔

中村盛夫 米山淑幸

(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉

保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)

副委員長 守谷一雄(弁ク)

委 員 (同友) 秋山 修 天野 泉

大塚明博 山田智重

(弁ク) 遠山 勉 木下實三

渡邉一平 渡邊喜平

#### 【平成8年度】

幹事長 小池 晃(同友)

副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)

三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)

大橋 弘(同友) (企画・同友担当)

幹 事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久

伊藤 進 紺野正幸

木下實三 黒田博道

(同友) 恩田博宣 古谷史旺

坂口信昭 本田 崇

小林正治 田中雅雄

監 事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)

相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹

絹谷信雄 佐藤孝雄

(同友) 田中武文 原田信市

佐々木功 菊池新一

米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)

副委員長 真田修治(弁ク)

委 員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一

井上 一 保立浩一

(同友) 中里浩一 桑原 稔

神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友) 佐々木功 菊池新一 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁 米屋武志 小池 晃 委 員 青木輝男 遠山 勉 総務委員会(担当 竹内 裕) (同友) 森哲 也 小林 保 五十嵐和壽 羽村行弘 委員長 川久保新一(弁ク) 副委員長 米山淑幸(同友) 企画委員会(担当 大橋 弘) 委員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳 委員長 坂本光雄(同友) 黒田 壽 笹井浩毅 副委員長 井上誠一(弁ク) (同友) 秋山 修 桑原 稔 委 員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三 菊池 徹 中村信彦 開口宗昭 黒田 壽 政策委員会(担当 永井義久) (同友) 大貫和保 中村盛夫 中村和年 旦 武尚 委員長 吉田精孝(同友) 副委員長 内田和男(弁ク) 研修委員会(担当 大橋 弘) 委 員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫 委員長 高月 猛(同友) 保立浩一 三品岩男 副委員長 井上 一(弁ク) (同友) 大塚明博 仁科勝史 委 員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭 小倉正明 飯田昭夫 (同友) 本田 崇 山田智重 企画委員会(担当 田辺敏郎) 選挙対策委員会(担当 小池 晃) 委員長 西森浩司(弁ク) 委員長 木下實三(弁ク) 副委員長 長内行雄(同友) 副委員長 中山伸治(同友) 委 員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫 委 員 (弁ク) 土橋 皓 渡邉一平 世良和信 山口邦夫 (同友) 坂本光雄 旦 武尚 黒田博道 山口邦夫 (同友) 黒川弘朗 八鍬 昇 小川眞一 松下 満 小倉正明 伊賀誠司 選挙対策委員会(担当 永井義久) 【平成9年度】 委員長 中山伸治(同友) 副委員長 伊藤 進(弁ク) 委 員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴 幹事長 木下實三(弁ク) 副幹事長 竹内 裕(同友) 須山佐一 渡邊喜平 (総務・10周年(主)担当) (同友) 吉田芳春 黒川弘朗 田辺敏郎(同友) 神崎正浩 藤井稔也 (企画・研修・10周年担当) 研修委員会(担当 田辺敏郎) 永井義久(弁ク) (政策・選対・10周年担当) 委員長 石川泰男(弁ク) 幹 事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道 副委員長 中里浩一(同友) 紺野正幸 須山佐一 委員 (弁ク) 井上 一 木村高明 中島 淳 三澤正義 塩田辰也 遠山 勉 (同友) 秋山 修 大塚明博 (同友) 大塚明博 小林 保 大貫和保 小倉正明 西野茂美 大賀眞司 坂本光雄 中澤健二 事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友) 10周年記念事業実行委員会 相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 (担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久) 絹谷信雄 佐藤孝雄 委員長 天野 泉(同友)

副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

(同友) 田中武文 原田信市

須山佐一 遠山 勉 総務委員会(担当:須山佐一) 油井 透 委員長 小倉正明(同友) (同友) 唐木浄治 積田輝正 副委員長 渡邉一平(弁ク) 羽村行弘 吉田芳春 委員 (同友)清水敬一 中村盛夫 員 委 (弁ク) 青木輝男 伊藤 進 旦 武尚 伊賀誠司 大島陽一 木村高久 (弁ク) 山口邦夫 井上誠一 黒田博道 黒田 壽 下田 茂 内田和男 齋藤美晴 笹井浩毅 下田容一郎 中島 淳 政策委員会(担当:吉田精孝) 中山 清 服部雅紀 中島 淳(弁ク) 委員長 布施行夫 三澤正義 副委員長 小林正治(同友)笹井浩毅(弁ク) 山口邦夫 委 員 (弁ク) 青木輝夫 山口邦夫 (同友) 井澤 洵 大橋 弘 黒田 壽 大橋邦彦 大塚明博 菊池 徹 布施行夫 保立浩一 坂本光雄 坂口信昭 半田昌男 阪本清孝 丸山英一 田中雅雄 藤野清規 原田 寛 旦武 尚 中澤健二 (同友) 伊賀誠司 小倉正明 古谷史旺 山本彰司 恩田博宣 唐木浄治 山田智重 吉田精孝 小池 晃 清水敬一 旦 武尚 原田信市 米山淑幸 古谷史旺 米山淑幸 【平成10年度】 (監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二 本田 崇 小川眞一 幹事長 田辺敏郎(同友) 五十嵐和壽 (弁ク) 小田治親 伊藤 進 副幹事長 吉田精孝(同友) (政策、役員協議担当) 仁平 孝 真田修治 木村高久(弁ク) 渡邊喜平 井上 一 (企画、研修担当) 須山佐一(弁ク) 企画委員会(担当:木村高久) (総務、渉外関係担当) 委員長 大塚明博(同友) 副委員長 小川利春(弁ク) 幹 (同友) 小林正治 井澤 洵 委員 (同友) 長内行雄 小林 保 中澤健二 本田 崇 坂本光雄 羽村行弘 小川眞一 五十嵐和壽 (弁ク) 石橋佳之夫 牧 哲郎 (弁ク) 小田治親 伊藤 進 渡部敏彦 西森浩司 仁平 孝 真田修治 渡邊喜平 井上 一 役員協議委員会(担当:吉田精孝) 委員長 守谷一雄(弁ク) 監 事 土橋 皓 (弁ク) 大橋 弘 (同友) 副委員長 羽村行弘(同友) 委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親 相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 岡本啓三 高橋康夫 絹谷信雄 佐藤孝雄 木下實三 真田修治 木下實三 (同友) 古谷史旺 唐木浄治 大貫和保 仁科勝史 (同友) 田中武文 原田信市 佐々木功 菊池新一 中山伸治 米屋武志 小池 晃 研修委員会(担当:木村高久) 委員長 大貫和保(同友)

柿本恭成(弁ク) 副委員長 委 (同友) 小川眞一 鈴木利明 員 丸山英一 中村信彦 (弁ク) 石川泰男 島田康男 古谷 聡 堤 卓 再選挙に関する特別委員会

委員長 木下實三(弁ク) 副委員長 守谷一雄(弁ク)羽村行弘(同友) (弁ク) 三澤正義 小田治親 員 岡本啓三 高橋康夫 真田修治 (同友) 古谷史旺 唐木浄治

大貫和保 仁科勝史 中山伸治

#### 【平成11年度】

[幹事会]

幹事長 須山佐一(弁ク) 副幹事長 井澤 洵(同友)

(企画、研修担当)

小林正治(同友)

(政策、役員協議担当)

永井義久(弁ク)

(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

> (同友) 大橋 弘 黒川弘朗 坂口信昭 森 哲也 羽村行弘 吉田芳春 (弁ク)伊藤 進 小田治親 仁平 孝 渡邊喜平 川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役

(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友) 菊池新一(同友) 原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友) 木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)

(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク) (弁理士会常議員会議長経験者) 山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委員長 井上 一(弁ク) 副委員長 菊池 徹(同友)

委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一

尾関伸介 笹井浩毅

(同友) 羽切正治 中村信彦 山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委員長 小池 晃(同友)

19月以降:古谷 史旺(同友)

副委員長 大橋邦彦(弁ク)

中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫 伊賀誠司 竹内 裕 松下 満 吉田精孝 (弁ク) 井上誠一 北村 仁 黒田 壽 三澤正義

山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委員長 山口邦夫(弁ク) 副委員長 杉本良夫(同友)

委員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明

布施行夫 渡部敏彦

(同友) 本宮照久 神崎正浩 高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委員長 原田信市(同友) 副委員長 内田和男(弁ク)

天野 泉(同友)

委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一 竹内 裕 中山伸治

> (弁ク) 川久保新一 木村高久 紺野正幸 仁平 孝 原田 寛 守谷一雄 山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委員長 古谷史旺(同友) 副委員長 三澤正義(弁ク)

委 (同友) 菊池新一 原田信市 員 政策委員会 森 哲也 山本彰司 委員長 木下實三(弁ク) (弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎 副委員長 本田 崇(同友) 中山 清 守谷一雄 世良和信(弁ク) 委 員 (同友) 竹内 裕 中澤健二 研修委員会(担当 井澤 洵) 秋山 修 小林正治 委員長 保立浩一(弁ク) 吉田芳春 小倉正明 副委員長 五十嵐和壽(同友) 松下 満 崔 秀喆 委 員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸 (弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴 廣田浩一 油井 透 亀谷美明 川久保新一 (同友) 山田智重 中里浩一 保立浩一 布施行夫 米山叔幸 藤井稔也 役員協議委員会 委員 長 【平成12年度】 下田容一郎(弁ク) 副委員長 小林正治(同友) [幹事会] 井上 一(弁ク) 幹事長 古谷史旺(同友) 委 員 (同友) 原田信市 黒川弘朗 副幹事長 仁平 孝(弁ク) 高野昌俊 西野茂美 (政策、役員協議担当) 本宮照久 真田修治(弁ク) (弁ク) 永井義久 紺野正幸 小田治親 青木輝夫 (企画、研修担当) 北村 仁 坂口信昭(同友) (総務、調整、渉外関係担当) 調整委員会 (弁ク) 内田和男 井上 一 委員長 幹 事 三澤正義(弁ク) 中島 淳 渡邉一平 副委員長 山本彰司(同友) 土橋 晧 永井義久 委 員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久 (同友) 大貫和保 大塚明博 守谷一雄 須山佐一 (同友) 中山伸治 菊池新一 本田 崇 小倉正明 森 哲也 天野 泉 羽村行弘 田中雅雄 監 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク) 研修委員会 委員長 山田智重(同友) 相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク) 副委員長 木村高久(弁ク) (弁ク) 堤 卓 高島敏郎 古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友) 委員 菊池新一(同友)原田信市(同友) 友野英三 坂本清孝 絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク) (同友) 中村信彦 青山 仁 小池 晃(同友) 木下實三(弁ク) 高田大輔 高尾裕之 田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク) 企画委員会 総務委員会 委員長 長内行雄(同友) 委員長 坂本光雄 (同友) 副委員長 柿本恭成(弁ク) 副委員長 黒田 壽(弁ク) 委 員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司 委 員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭 丸山英一 山﨑高明 尾川秀昭 石崎 剛 (弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉

富澤 孝 金坂憲幸

(同友) 大塚明博 山木義明

菊池 徹 崔 秀喆

#### 【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)

副幹事長 本田 崇(同友)

(政策、研修担当)

山本彰司(同友)

(企画、役員協議担当)

伊藤 進(弁ク)

(総務、調整、渉外関係担当)

幹 事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝

笹井浩毅 内田和男

大橋邦彦 布施行夫

(同友) 唐木浄治 丸山英一

山﨑高明 五十嵐和壽

森 哲也 中山伸治

監 事 黒川弘朗(同友)富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)

古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)

菊池新一(同友)原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)

佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)

須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)

総務委員会

委員長 保立浩一(弁ク)

副委員長 中村盛夫(同友)

委 員 (弁ク)尾川秀昭 阪本清孝

廣田浩一 山本晃司

(同友)中里浩一 松下 満

藤井稔也 山木義明

政策委員会

委員長 磯野道造(同友)

副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)

委 員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治

仁平 孝 平山一幸

三谷 恵 三澤正義

山川茂樹

(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭

竹内 裕 田辺敏郎

中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)

副委員長 守谷一雄(弁ク)吉田芳春(同友)

委 員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成

北村 仁 木下實三

紺野正幸

(同友) 内藤嘉昭 佐々木功

古谷史旺 仁科勝史

長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)

副委員長 木村高久(弁ク)

委 員 (弁ク) 須山佐一 真田修治

永井義久 渡邉一平

(同友) 天野 泉 小林正治

中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)

副委員長 菊池 徹(同友)

委員(弁ク)石川泰男 堀 城之

富澤 孝 木村高明

(同友) 山田智重 杉本良夫

旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)

副委員長 川俣静子(同友)

委 員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉

友野英三 岡本啓三

(同友) 高野昌俊 竹山宏明

崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)

副幹事長 森 哲也(同友)

(総務、調整、渉外関係担当)

内田和男(弁ク)

(企画、研修担当)

川久保新一(弁ク)

(政策、役員協議担当)

幹 事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎

青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一 仁平 孝 柿本恭成 (同友) 中山伸治 唐木浄治 黒田壽 清水敬一 山本義明 (同友) 原田信市 黒川弘朗 白崎真二 宮坂 徹 山本彰司 古谷史旺 内藤嘉昭 監 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友) 事 研修委員会 相談役 委員長 長内行雄(同友) 田中武文(同友)山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友) 副委員長 世良和信(弁ク) 菊池新一(同友)原田信市(同友) 委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友) 美濃好美 塩野谷英城 佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友) (同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司 丸山英一 杉本良夫 木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友) 中島 淳(弁ク) 調整委員会 委員長 須山佐一(弁ク) 総務委員会 副委員長 磯野道造(同友) 委員長 委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄 五十嵐和壽(同友) 副委員長 中川裕幸(弁ク) 木村高久 中島 淳 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司 委 員 (同友) 佐々木功 中村政美 廣田浩一 佐原雅史 積田輝正 大貫和保 (同友) 中村盛夫 松田克治 秋元芳雄 長内行雄 【平成15年度】 企画委員会 幹事長 伊藤 進(弁ク) 委員長 川俣静子(同友) 副幹事長 中澤健二(同友) (政策、調整担当) 副委員長 山口義雄(弁ク) 委 員 (弁ク) 大渕美千栄 坂本清孝 飯田昭夫(同友) 金坂憲幸 金井英幸 (企画、研修担当) (同友) 竹山宏明 崔 秀喆 渡邉一平(弁ク) 広瀬 一 谷口 登 (総務、役員協議、渉外担当) (同友) 中山伸治 大塚明博 政策委員会 幹 委員長 永井義久(弁ク) 中村盛夫 伊賀誠司 副委員長 坂口信昭(同友) 旦 武尚 高尾裕之 (弁ク) 伊藤 進 木下實三 (弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒 委 員 齋藤美晴 井上 一 真田修治 北村 仁 井上誠一 阪本清孝 山川茂樹 友野英三 (同友) 田辺敏郎 中澤健二 監 松田克治(同友)木村高久(弁ク) 本田 崇 大塚明博 事 高野昌俊 小倉正明 田中武文(同友)山川政樹(弁ク) 相談役 役員協議委員会 古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友) 委員長 伊藤 進(弁ク) 菊池新一(同友)原田信市(同友) 副委員長 中村盛夫(同友) 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友) 委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸 佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク) 西康二郎 田中ひろみ 小林正治(同友) 調整委員会 委員長 天野 泉(同友) 総務委員会 委員長 齋藤美晴(弁ク) 副委員長 中山 清(弁ク) 副委員長 松下 満(同友) 委 員 (同友) 吉田精孝 本田 崇 (同友) 神崎正浩 花村 太 委 員 山本彰司 磯野道造 粕川敏夫 井澤 幹 (弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓 (弁ク) 鈴木 知 中川裕幸 紺野正幸 小田治親 柿本邦夫 石崎 剛 企画委員会 【平成16年度】 委員長 本宮照久(同友) 副委員長 水野 清(弁ク) 幹事長 磯野道造(同友) 委 (同友) 長内行雄 新井 全 副幹事長 須山佐一(弁ク) 員 (研修、企画担当) 小島 猛 西 和哉 (弁ク) 内田和男 小川利春 永井義久(弁ク) 金坂憲幸 美濃好美 (政策、調整担当) 五十嵐和壽(同友) 政策委員会 (総務、役員協議、渉外担当) 委員長 吉田芳春(同友) 副委員長 永井義久(弁ク) 幹 事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹 (同友) 磯野道造 小池 晃 委 員 内田和男 中川裕幸 小川利春 笹井浩毅 坂口信昭 原田信市 竹内 裕 本田 崇 (同友) 竹内 裕 清水 修 旦 武尚 青山 仁 大貫和保 神崎正浩 (弁ク) 大橋邦彦 中島 淳 伊賀誠司 石川 憲 三澤正義 井上 一 保立浩一 服部雅紀 監 車 小田治親(弁ク)大塚明博(同友) 今井孝弘 相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク) 役員協議委員会 古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友) 委員長 永井義久(弁ク) 菊池新一(同友)原田信市(同友) 副委員長 杉本良夫(同友) 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友) 黒田 壽(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友) 委 員 (同友) 天野 泉 大塚明博 木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友) 中村盛夫 松原 等 須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク) (弁ク) 仁平 孝 川久保新一 小林正治(同友)伊藤 進(弁ク) 布施行夫 山川茂樹 総務委員会 山本晃司 委員長 米山淑幸(同友) 研修委員会 副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク) 委員長 塩野谷英城(弁ク) 委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美 副委員長 大賀眞司(同友) 茅野直勝 三谷 惠 (同友) 花村 太 粕川敏夫 (同友) 林 信之 高野昌俊 石川 憲 中原文彦 神崎正浩 小島 猛

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史

企画委員会 【平成17年度】 委員長 金坂憲幸(弁ク) 副委員長 新井 全(同友) 幹事長 永井義久(弁ク) 委 員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁 副幹事長 吉田芳春 (同友) 阿仁屋節雄 柿本邦夫 (研修、政策、 (同友) 松下 満 西 和哉 役員協議〈後期〉担当) 旦 武尚 佐藤 陽 小川眞一 (同友) (企画、 役員協議〈前期〉担当) 政策委員会 委員長 三澤正義(弁ク) 笹井浩毅(弁ク) (総務、調整担当) 副委員長 飯田昭夫(同友) 委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫 保立浩一 山川茂樹 幹 事 (同友) 新井 全 伊賀誠司 伊藤 進 渡邉一平 長内行雄 坂口信昭 (同友) 長内行雄 坂口信昭 坂本光雄 中村盛夫 中澤健二 坂本光雄 (弁ク)鈴木 知 堤 卓 中村盛夫 成瀬重雄 中川裕幸 中山 清 布施行夫 山本晃司 役員協議委員会 委員長 中村盛夫(同友) 監 事 大塚明博(同友)小田治親(弁ク) 副委員長 土橋 皓(弁ク) (弁ク) 保立浩一 石川泰男 委 相談役 員 田中武文(同友)山川政樹(弁ク) 平山一幸 笹井浩毅 古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友) 渡邉一平 菊池新一(同友)原田信市(同友) (同友) 中里浩一 仁科勝史 絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友) 杉本良夫 宮坂 徹 小池 晃(同友)木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)須山佐一(弁ク) 研修委員会 中島 淳(弁ク)小林正治(同友) 委員長 林 信之(同友) 伊藤 進(弁ク)磯野道造(同友) 中川裕幸(弁ク) 副委員長 委 員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸 総務委員会 鈴木 敦 岡田希子 委員長 金坂憲幸(弁ク) (同友) 中村信彦 山田智重 副委員長 山﨑高明(同友) 大賀眞司 井澤 幹 委 員 (同友) 松下 満 杉本良夫 宮坂 徹 山田武史 安彦 元 関 昌充 調整委員会 (弁ク) 井上誠一 柿本邦夫 委員長 伊藤 進(弁ク) 副委員長 本田 崇(同友) 廣田浩一 三谷 惠 委 (弁ク) 紺野正幸 中山 清 員 絹谷信雄 山川政樹 企画委員会 (同友) 小池 晃 吉田精孝 委員長 高尾裕之(同友) 中山伸治 大橋 弘 副委員長 山口義男(弁ク) 委 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一 員 (同友) 新井 全 杉本良夫

吉村俊一

政策委員会

(研修、企画担当)

委員長 川久保新一(弁ク) 副委員長

坂本光雄(同友) 委 員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫

成瀬重雄

(弁ク) 木下實三 中島 淳 井上 一 黒田 壽

山川茂樹 田中ひろみ

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)

副委員長 紺野正幸(弁ク)

副委員長 菊池 徹(同友)

委 員(弁ク) 水野 清 服部雅紀

山川茂樹 山本晃司

(同友) 中澤健二 仁科勝史

伊賀誠司 崔 秀喆

小島 猛

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)

副委員長 林 信之(同友)

(同友) 青山 仁 委 員

(弁ク) 北村 仁 永岡重幸

鈴木 敦

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽

本宮照久 中村信彦

(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭

服部雅紀 河部秀男

赤羽良之

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)

副委員長 渡邉一平(弁ク)

(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹事長 吉田芳春(同友)

副幹事長 三澤正義(弁ク)

(役員協議、政策担当)

長内行雄(同友)

(総務、調整担当)

井上誠一(弁ク)

(弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸 事

川久保新一 小川利春

永岡重幸 美濃好美

(同友) 磯野道造 坂口信昭

小林正治 五十嵐和壽

小林 保 杉本良夫

監 事 真田修治(弁ク)大貫和保(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)

古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)

菊池新一(同友)原田信市(同友)

絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)

小池 晃(同友)木下實三(弁ク)

田辺敏郎(同友)須山佐一(弁ク)

中島 淳(弁ク)小林正治(同友)

伊藤 進(弁ク)磯野道造(同友)

永井義久(弁ク)

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)

副委員長 美濃好美(弁ク)

委 員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫

(同友) 山田武史 宮坂 徹

松下 満 杉本良夫

安彦 元 関 昌充

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)

副委員長 磯野道造(同友)紺野正幸(弁ク)

委 員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹

小島 猛 藤浪一郎

堂本 環 古川友美

丸山英一

(弁ク) 小川利春 金坂憲幸

塩野谷英城 布施行夫

山口義雄 山本晃司

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)

副委員長 布施行夫(弁ク)

(弁ク) 小川利春 長谷川靖 委 員

三谷恵

(同友) 林 信之 中村信彦

	山田 武史	幹	事	(同友)	坂口信昭 坂本光雄	五十嵐和壽 伊賀誠司	
企画委員会					杉本良夫	中原文彦	
委員長	永岡重幸(弁ク)			(弁ク)	小川利春	井上誠一	
副委員長	粕川敏夫(同友)				塩野谷英城 永岡重幸		
	(同友) 松下 満 花村 太				服部雅紀	三澤正義	
	中原文彦						
	(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄 山口義雄	監	事	真田修	多治(弁ク)	大貫和保(同友)	
		相談	役	(同友)	田中武文	佐々木功	
政策委員会					菊池新一	原田信市	
委員長	崔 秀喆(同友)				米屋武志	小池 晃	
副委員長	廣瀬隆行(弁ク)				田辺敏郎	小林正治	
委 員	(弁ク) 保立浩一 笹井浩毅				磯野道造	吉田芳春	
	鈴木喜三郎 田中ひろみ			(弁ク)	伊藤 進	木下實三	
	井上 一 今井孝弘				絹谷信雄	須山佐一	
	岡田希子 奥田 誠				永井義久	中島 淳	
	金坂憲幸 上條由紀子				古谷 馨	山川政樹	
	茅野直勝 川久保新一						
	木下實三 小林 浩	総務委員	会				
	佐成重範 永井義久	委 員	長	中川裕幸(弁ク)			
	永岡重幸 服部雅紀	副委員長		中原文彦(同友)			
	美濃好美 山本晃司	委	員	(同友)	旦 武尚	花村 太	
	中島 淳 山川茂樹				小島 猛		
	(同友) 丸山英一 小林 保			(弁ク)	奥川勝利	茅野直勝	
	小林正治 坂本光雄						
	本宮照久 菊池 徹	政策委員					
	杉本良夫 坂口信昭		委員長 山本晃司(弁ク)				
		副委員			質久(同友)		
調整委員会	2.11.26.1.77.2.2	委	員	(同友)	坂本光雄		
	永井義久(弁ク)				崔秀喆	山田武史	
	山本彰司(同友)			(1)	石川 憲	Pr /P2.116+ 1→	
委 員	(同友) 吉田精孝 丸山英一			(弁ク)	保立浩一		
	(弁ク) 下田容一郎 川久保新一				奥 和幸		
【平成19年度】					田中ひろみ	<b>4</b>	
【一成19千点】		得昌協議	役員協議委員会				
幹事長	川久保新一(弁ク)		委員長 小川眞一(同友)				
	天野 泉(同友)		要員長       4000         副委員長       亀谷美明(弁ク)         委員(弁ク)平山一幸 布施行夫				
四川中人	(20周年記念事業担当)						
	井上 一(弁ク)				市本邦夫		
	(総務、政策、調整担当)		(		質誠司 *	<b></b> 自川敏夫	
	丸山英一(同友)			言	<b>局尾裕之</b>		
	(企画、役員協議、		1.6				
	研修担当)	調整委員	会	2店2自	或 / //、 · )		

委員長

渡邉一平(弁ク)

中原文彦 萼 経夫 副委員長 山本彰司(同友) 委 員 選任なし 松下 満 山木義明 研修委員会 監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友) 委員長 米山淑幸(同友) 今井孝弘(弁ク) 相談役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一 副委員長 委 員(弁ク) 絹谷晴久 須山英明 木下實三 絹谷信雄 須山佐一 永井義久 長谷川靖 (同友) 中村信彦 三島広規 中島 淳 古谷 馨 小島 猛 山川政樹 (同友) 磯野道造 菊池新一 企画委員会 小池 晃 小林正治 委員長 菊池 徹(同友) 佐々木功 田中武文 副委員長 山本寿武(弁ク) 田辺敏郎 原田信市 委 員(弁ク)阿仁屋節雄 奥田 誠 吉田芳春 米屋武志 鈴木喜三郎 山口義雄 (同友) 青山 仁 高尾裕之 総務委員会 本宮照久 委員長 中原文彦(同友) 副委員長 住吉勝彦(弁ク) 20周年記念事業実行委員会 委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫 委員長 永井義久(弁ク) 小國泰弘 副委員長 伊賀誠司(同友) (同友) 菊池 徹 宮坂 徹 部 会 長 〈式 典〉黒田 壽(弁ク) 山田武史 部 会 長 〈祝賀会〉小川眞一(同友) 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全 政策委員会 中村盛夫 崔 秀喆 委員長 住吉勝彦(弁ク) 粉川敏夫 杉本良夫 副委員長 本田 淳(同友) (弁ク) 茅野直勝 原田 寛 委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉 山口邦夫 中川裕幸 竹内 裕 小池 晃 伊藤信和 柿本邦夫 古谷史旺 吉田芳春 鈴木 知 丸山英一 山田武史 長内行雄 笹川 拓 【平成20年度】 関 昌充 笹野拓馬 (弁ク) 世良和信 川久保新一 幹事長 小川眞一(同友) 井上 一 金坂憲幸 副幹事長 亀谷美明(弁ク) 山本寿武 奥田 誠 伊藤信和 今井孝弘 (政策、役員協議担当) 上條由紀子 奥 和幸 中川裕幸(弁ク) (研修、企画担当) 恒川圭志 及川 周 國井久美子 森岡嗣象 伊賀誠司(同友) (総務、調整担当) 高橋史保 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城 企画委員会 幹

委員長 長内行雄(同友)

副委員長

瀧澤匡則(弁ク)

委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

鈴木 知 永井義久

永岡重幸 三澤正義

(同友) 新井 全 坂本光雄

(同友) 菊池 徹 谷山尚史 木下實三 絹谷信雄 井澤 幹 須山佐一 永井義久 中島 淳 古谷 馨 山川政樹 研修委員会 奥 和幸(弁ク) 委員長 総務委員会 副委員長 大塚明博(同友) 委 員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之 委員長 永岡重幸(弁ク) 石戸孝則 副委員長 吉村俊一(同友) 委員(同友)青山仁笹川拓 関 昌充 調整委員会 山本彰司(同友) (弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫 委員長 副委員長 三澤正義(弁ク) 奥 和幸 委 員 (弁ク)下田容一郎 伊藤 進 (同友) 古谷史旺 丸山英一 政策委員会 委員長 森哲也(同友) 役員協議委員会 副委員長 山本晃司(弁ク) 委員長 保立浩一(弁ク) 委 員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一 副委員長 吉田芳春(同友) 及川 周 奥 和幸 川久保新一 川守田光紀 【平成21年度】 國井久美子 住吉勝彦 世良和信 永井義久 幹事長 渡邉一平(弁ク) 永岡重幸 山川茂樹 副幹事長 梶 俊和 本宮照久(同友) (同友) 天野 泉 小川眞一 (企画、研修担当) 小池 晃 笹川 拓 山崎高明(同友) 笹野拓馬 関 昌充 (政策、役員協議担当) 竹内 裕 恒川圭志 黒田 壽(弁ク) (総務、調整担当) 古谷史旺 本田 淳 丸山英一 山崎高明 (同友) 新井 全 坂本光雄 山田武史 吉田芳春 幹 事 松下 満 山木義明 菊池 徹 大塚明博 役員協議委員会 (弁ク) 小川利春 井上誠一 委員長 吉田芳春(同友) 塩野谷英城 今井孝弘 副委員長 保立浩一(弁ク) 山川茂樹 山口義雄 調整委員会 監 事 坂口信昭(同友) 委員長 三澤正義(弁ク) 副委員長 山本彰司(同友) 真田修治(弁ク) 委 員 (同友) 天野 泉 古谷史旺 (同友) 田中武文 佐々木功 (弁ク) 伊藤 進 下田容一郎 相談役 菊池新一 原田信市 米屋武志 小池 晃 研修委員会 田辺敏郎 古谷史旺 委員長 中原文彦(同友) 小林正治 磯野道造 副委員長 鈴木 敦(弁ク) 委員(弁ク) 住吉勝彦 吉田芳春 小川眞一

(同友) 山田武史

(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

(弁ク) 伊藤 進 内田和男 企画委員会 梶 俊和(弁ク) 委員長 永井義久 川久保新一 副委員長 中原文彦(同友) 井上誠一 永岡重幸 委 員 (同友) 井澤 幹 本田 淳 奥 和幸 住吉勝彦 梶 俊和 (弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則 役員協議委員会 【平成22年度】 委 員 長 丸山英一(同友) (4/1~) 幹事長 亀谷美明(弁ク) 副委員長 鈴木 知(弁ク) 副幹事長 田中雅雄(同友) 委 員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久 山川茂樹(弁ク) 潮 太朗 (同友) 中村盛夫 坂本光雄 吉村俊一(同友) 藤井稔也 林 信之 幹 (同友) 大塚明博 坂本光雄 笹川 拓 本田 淳 山木義明 松下 満 新井 全 菊池 徹 調整委員会 (弁ク) 小川利春 岡本啓三 委員長 田辺敏郎(同友) 井上誠一 山本晃司 副委員長 伊藤 進(弁ク) 永岡重幸 今井孝弘 委員 山本彰司(同友) 監 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク) 研修委員会 事 委員長 今井孝弘(弁ク) 相談役 (同友) 原田信市 佐々木功 副委員長 山田武史(同友) 磯野道造 菊池新一 委員中原文彦(同友) 小池 晃 田辺敏郎 古谷史旺 小林正治 企画委員会 吉田芳春 小川眞一 委員長 佐尾山和彦(同友) (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 副委員長 伊藤信和(弁ク) 絹谷信雄 伊藤 進 委 員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸 須山佐一 中島 淳 (同友) 菊池 徹 古川友美 木下實三 永井義久 川久保新一 渡邉一平 【平成23年度】 総務委員会 選任なし 委 員 長 住吉勝彦(弁ク) 本田 淳(同友) 副委員長 【平成24年度】 委 員 松本一騎(弁ク) 幹事長 長野みか(弁ク) 古谷史旺(同友) 副幹事長 中川裕幸(弁ク) 政策委員会 山川茂樹(弁ク) 委員長 小川眞一(同友) 山本晃司(弁ク) 副委員長 藤井稔也(同友) 幹 事 (同友) 天野 泉 竹内 裕 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城 小池 晃 古谷史旺 絹谷晴久 木戸基文 吉田芳春 丸山英一 (同友) 大塚明博 坂本光雄

山木義明 松下 満

山田武史 本田 淳

#### 吉田芳春 小川眞一

#### 新井 全 菊池 徹

監 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友) 総務委員会 事 委員長 安彦 元(同友) (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 相談役 副委員長 滝澤匡則(弁ク) 絹谷信雄 伊藤 進 須山佐一 中島 淳 政策委員会 木下實三 永井義久 委員長 永岡重幸(弁ク) 川久保新一 副委員長 山﨑高明(同友) (同友) 原田信市 佐々木功 磯野道造 菊池新一 役員協議委員会 小池 晃 田辺敏郎 委 員 長 井澤 幹(同友) 副委員長 井上誠一(弁ク) 古谷史旺 小林正治 吉田芳春 小川眞一 調整委員会 総務委員会 委員長 木下實三(弁ク) 委員長 中原文彦(同友) 副委員長 田中雅雄(同友) 副委員長 小國泰弘(弁ク) 研修委員会 野崎俊剛(弁ク) その他の委員会については、立ち上げず 委員長 副委員長 山田武史(同友) 【平成25年度】 企画委員会 幹事長 委員長 中原文彦(同友) 丸山英一(同友) 副幹事長 中川裕幸(弁ク) 副委員長 岸本達人(弁ク) 山本晃司(弁ク) 【平成26年度】 吉村俊一(同友) 幹事長 幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一 山川茂樹(弁ク) 岸本達人 永岡重幸 青山 仁(同友) 副幹事長 滝澤匡則 野崎俊剛 (企画委員会、研修委員会) (同友) 田中雅雄 山﨑高明 井澤 幹(同友) 山田武史 中原文彦 (役員協議委員会、調整委員会) 安彦 元 井澤 幹 鈴木 知(弁ク) (総務委員会、政策委員会) 監 坂口信昭(同友)真田修治(弁ク) 幹 (同友) 丸山英一 山崎高明 事 相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹 笹川 拓 茜ヶ久保公二 岩田克子 本田 淳 絹谷信雄 伊藤 進 (弁ク) 世良和信 渡邉一平 須山佐一 中島 淳 岸本達人 小國泰弘 木下實三 永井義久 梶 俊和 絹谷晴久 川久保新一 (同友) 原田信市 佐々木功 事 磯野道造 菊池新一 監 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相談役

(同友) 原田信市 佐々木功

小池 晃 田辺敏郎 古谷史旺 小林正治 磯野道造 菊池新一

小池 晃 田辺敏郎

古谷史旺 小林正治

吉田芳春 小川眞一

丸山英一

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹

絹谷信雄 伊藤 進

須山佐一 中島 淳

木下實三 永井義久

川久保新一 渡邉一平

総務委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)

副委員長 本田 淳(同友)

委 員 (同友) 笹野拓馬 石井理太

(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会

委員長 山﨑高明(同友)

副委員長 瀧澤匡則(弁ク)

委 員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久

渡邉一平 岸本達人

岡田希子 永岡重幸

小國泰弘 今堀克彦

須山英明 奥川勝利

内野則彰 岩田耕一

富澤 正 野崎俊剛

(同友) 竹内 裕 仁科勝史

吉田芳春 長内行雄

伊賀誠司 丸山英一

山田武史 笹川 拓

恒川圭志 石川 憲

井澤 幹 笹野拓馬

茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会

委員長 小田原敬一(弁ク)

副委員長 岩田克子(同友)

委 員 (同友) 仲村圭代 駒場大視

(弁ク) 奥川勝利 潮 太朗

役員協議委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)

副委員長 茜ヶ久保公二(同友)

委 員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎

徳増あゆみ 飯野智史

須田守一

(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘

美川公司 梶 俊和

調整委員会

委 員 長 丸山英一(同友)

副委員長 伊藤 進(弁ク)

委 員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司

(同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会

委員長 笹川 拓(同友)

副委員長 三輪浩誉(弁ク)

委 員 (弁ク) 松本一騎

(同友) 山田武史

# 弁理士連合クラブ会則

CONTRACTION CONTRA

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

#### 第1章 総 則

#### (名 称)

第1条 ・本会は、弁理士連合クラブと称する。

#### (目的)

第2条 ・本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

#### (組 織)

第3条 ・本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

#### (事務所)

第4条 ・本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

#### (入退会)

第5条 ・本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

#### 第2章 総 会

#### (総 会)

第6条 ・総会は、定時総会と臨時総会とする。

・定時総会は年2回2月、並びに9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

#### (権限)

第7条 ・総会は、次の事項を審議する。

- 1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項
- 2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項
- 3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
- 4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
- 5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

#### (召集)

第8条 ・総会は、幹事長が召集する。

・総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

#### (議長及び議事)

第9条 ・総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。

・議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

#### 第3章 役 員

#### (役 員)

第10条 ・本会に次の役員を置く。

- 1) 幹事長1人
- 2) 副幹事長若干人
- 3) 幹事若干人
- 4) 監事若干人

幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。

役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

#### (幹事会)

第11条 ・幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。

- ・会務の執行は、幹事会がこれを決する。
- ・議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。 第11条の2 ・幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

#### (幹事長)

- 第12条 ・幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
  - ・幹事長は、本会を代表する。
  - ・副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を 代行する。

#### (報告等)

第13条 ・幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

#### (監事)

第14条 ・監事は、本会の財務を監査する。

#### 第4章 委員会

#### (委員会)

- 第15条 ・本会に次の委員会を置く。
  - 1) 総務委員会
  - 2) 政策委員会
  - 3) 企画委員会
  - 4) 役員協議委員会
  - ・幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

#### (委員選仟)

- 第16条 ・委員は、幹事会において選任する。
  - ・委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の 任期は幹事会が定める。
  - ・委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

#### (正副委員長)

- 第17条 ・委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
  - ・委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。 但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
  - ・委員長は委員会を代表する。
  - ・副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務 を代行する。

#### (委員会の会議)

第18条 ・議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

#### (委員会の職務)

- 第19条 ・各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
  - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
  - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
  - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
  - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

#### 第5章 相談役及び顧問

#### (相談役及び顧問)

- 第20条 ・本会に相談役及び顧問をおくことができる。
  - ・相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験 した者の中から選任する。
  - ・相談役は相談役会を構成する。
  - ・相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
  - ・相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

#### 第6章 会 計

#### (会計年度)

第21条 ・本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

#### (特別会計)

第22条 ・日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

#### (経 書)

第23条 ・本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

#### (監査報告)

第24条・監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

#### 第7章 規則の制定

#### (規則の制定)

第25条 ・幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

#### 第8章 会則等の改正

#### (会則の改正)

第26条 ・本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

#### (規則の改正)

第27条 ・規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

#### 附則

- 1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
- 2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
- 3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
- 4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
- 5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
- 6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
- 7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
- 8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
- 9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。
  - ②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
  - ③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする
- 10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。

# 弁理士連合クラブ慶弔規則

#### 第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、 本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

#### 第2条

- (1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。
  - (i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電
  - (ii)会員が結婚したときは祝電
- (2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。 第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

- (1)下記の者が死亡したときは弔電
  - (i)会員
  - (ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者
- (2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典
  - (i)本クラブ幹事長又はその経験者
  - (ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並び に日本弁理士会委員長の5回以上の経験者
  - (iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

#### 第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意 を表わす。

- (1)本クラブ幹事長又はその経験者
- (2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに 日本弁理士会委員長を5回以上経験した者

#### 第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会に おいて予めこれを定める。

#### 第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の 決定によってこれを行うことができる。

#### 付 則

- この規則は平成元年1月17日より施行する。
- この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

# 「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

#### (目 的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ(以下、本会という。)の会務運営に必要な特別寄付金について定 める。

#### (対象者)

特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、 第2条 同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者(本会設立前の経験者を除く。)とする。

#### (基準)

- 第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。
  - 1. 日本弁理士会会長又は同経験者・・・・・・・・・・・年6 ロ
  - 副会長又は同経験者・・・・・・・・・・・・年2口
  - 3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者・・・・・・・年 4 ロ
  - 4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者・・・・・・・・・・年1口
  - 5. 本会の幹事長又は同経験者・・・・・・・・・・・・年3口
  - 副幹事長又は同経験者・・・・・・・・・・・年1口

1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

#### (適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

#### (求めの手続及び時期)

- 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。 第5条
- 第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。
- 《注》・平成12年度第7回幹事会 (平成12年12月21日開催) で決議
  - ・平成12年度第2回総会 (平成13年1月25日開催) にて報告
  - ・平成12年度第8回幹事会(平成13年3月29日開催)で、第6条の追加を決議

### 編集後記

機関誌『連合』No.26を発行にあたり、執筆の依頼をご快諾頂きました寄稿者の先生方に、感謝しております。特に、日本弁理士会会長の伊丹勝先生、日本弁理士クラブ幹事長の西島孝喜先生、西日本弁理士クラブ幹事長の佐木啓二先生には、大変お忙しい中、弁理士連合クラブの旅行会へのご参加のみならず、機関誌『連合』への「ご挨拶」の執筆を賜り、深く御礼申し上げます。

機関誌『連合』No.26では、平成27年度の弁理士連合クラブで掲げられた3つのテーマ、すなわち、「弁理士連合クラブの活動の充実」、「日本弁理士会への強力な支援」、及び「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」の下で実行された様々な活動内容を報告しております。これらの活動内容をみると、弁理士連合クラブは、今年度も、三派の協力体制の下、日本弁理士会の運営を強力に支援していることを改めて感じました。これからも、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ、及び弁理士連合クラブが協力し合うことで、日本弁理士会が益々発展し、弁理士の活躍の場が広がっていくことを願ってやみません。

最後に、本年度の幹事長の山本晃司先生、副幹事長の永岡重幸先生、企画委員会委員長の安彦元先生、委員の柿本邦夫先生、徳増あゆみ先生、永井望先生、駒場大視先生には、機関紙『連合』No.26を発行に当たり、多大なご協力を頂きました。この場をかりて改めてお礼申し上げます。

(企画副委員長 奥和幸)

弁理士連合クラブ会報

連合

No.26

平成 28 年 1 月 31 日

発 行 弁理士連合クラブ

編 集 弁理士連合クラブ企画委員会

制 作 株文寿堂

Tel.03 (3948) 6631

